DENON®

DNP-2500NE

NETWORK AUDIO PLAYER

取扱説明書

お読みになったあとは、いつでも見られるところに「安全にお使いいただくために」・「保証書」とともに大切に保管してください。

目次

使用上のご注意 5
携帯電話使用時のご注意 5
お手入れについて 5
結露(つゆつき)について 5
付属品 6
乾電池の入れかた 7
リモコンの使いかた 7
特長 8
高音質 8
多彩な機能 9
各部の名前 10
フロントパネル 10
リアパネル 12
リモコン 14

接続のしかた

アンプを接続する 19
デジタル音声入力端子付きの機器を接続する 20
デジタル音声出力端子付きの機器を接続する 21
パソコンと接続する 22
USB 端子に iPod または USB メモリーを接続する 23
ホームネットワーク(LAN)に接続する 25
有線 LAN 25
無線 LAN 26
IR コントロール端子に接続する 28
電源コードを接続する 29

再生のしかた

基本操作 31
電源を入れる 31
入力ソースを選ぶ 31
インターネットラジオを聴く 32
インターネットラジオを聴く 33
vTuner でインターネットラジオ局をお気に入り登録する 34
パソコンや NAS に保存されているファイルを再生する 36
メディアの共有設定をおこなう 37
パソコンや NAS に保存されているファイルを再生する 38
お気に入り機能 40
放送局またはファイルをお気に入りリストに登録する 41
お気に入りリストに登録した放送局またはファイルを呼び出す 41
お気に入りリストに登録した放送局やファイルを再生中、登録した放送局またはファイルを切り替える 41
お気に入りリストから放送局またはファイルを削除する 41
iPod を再生する 42
iPod の音楽を聴く 43
オペレーションモードの設定（“On-Display”モード） 44
iPod/iPhone の充電 45
USB メモリーを再生する 46
USB メモリーに保存されているファイルを再生する 47
D/A コンバーター機能で再生する (USB-DAC) 49
パソコンと接続して再生する (USB-DAC) 50
デジタル機器と接続して再生する（COAXIAL/OPTICAL 1/OPTICAL 2） 59
AirPlay 機能 60
iPhone、iPod touch、iPad の曲を本機で再生する 60
iTunes の曲を本機で再生する 61
複数のスピーカー（機器）を選ぶ 61
Remote play 機能 62
それぞれの機器に必要な設定 63
ウェブコントロール機能 65
ウェブコントロール機能で本機をコントロールする 65
便利な機能 69
スリープタイマーを設定する 70
ディスプレイの明るさを切り替える 70
リモコンでヘッドホンの音量を調節する 70

設定のしかた

メニュー一覧 71
メニューの操作のしかた 74
文字入力について 75
カーソルボタンで入力する 75
一般 76
言語 76
オートスタンバイ 76
使用状況の送信設定 76
ファームウェア 76
リセット 78
ネットワーク 79
ネットワーク情報 79
ネットワーク制御 79
フレンドリ名 80
Wi-Fi 80
接続の設定 80
ヘッドホン 87
ゲイン切替 87
ダンピングファクター 87
ジョグの割り当て 88
トーン 88

困ったときは

上手な使いかた/こんなときの解決方法 90
故障かな？と思ったら 91
保証と修理について 101

付録

USB メモリーを再生する 103
インターネットラジオ局の再生について 104
D/A コンバーターについて 105
パソコンや NAS に保存されているファイルを再生する 106
ラストファンクションメモリー 107
用語の解説 108
登録商標について 112
主な仕様 113
索引 117

使用上のご注意

携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置で使用してください。

お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

結露(つゆつき)について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部)に水滴が付くことがあります(結露)。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま 1～2 時間放置してから使用してください。

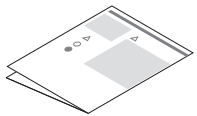
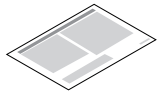
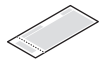
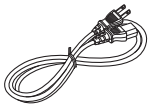
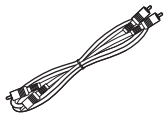
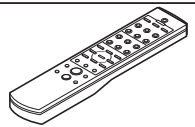
ステレオ音のエチケット

- 隣近所への配慮(おもいやり)を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

お買い上げいただきありがとうございます。
本機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

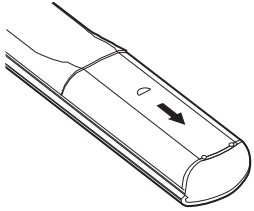
付属品

ご使用になる前にご確認ください。

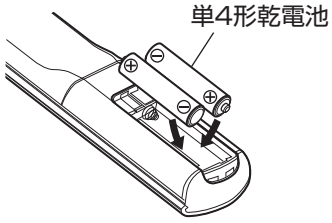
かんたん設定ガイド	取扱説明書（本書）	 安全にお使いいただくために	 電波に関するご注意	 保証書
 電源コード【本機専用】	 オーディオケーブル	IRコントロールケーブル（2本）	 リモコン（RC-1208）	単4形乾電池（2本）
無線LAN用外部アンテナ（2本）				

乾電池の入れかた

1 **裏ぶたを矢印の方向へスライドして取り外す。**



2 **乾電池(2 本)を乾電池収納部の表示に合わせて正しく入れる。**



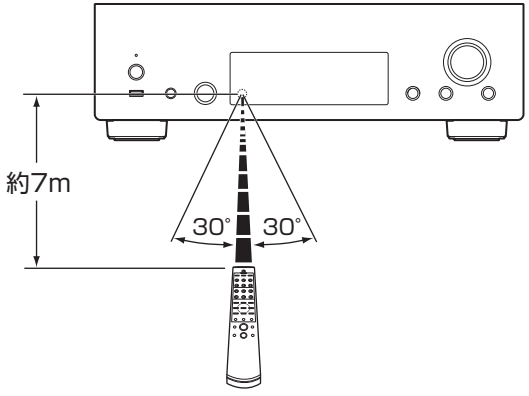
3 **裏ぶたを元どおりにする。**

ご注意

- 乾電池は、リモコンの乾電池収納部の表示どおりに ⊕ 側·⊖ 側を合わせて正しく入れてください。
- 破損·液漏れの恐れがありますので、
  - 新しい乾電池と使用済みの乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- リモコンを長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

リモコンの使いかた

リモコンはリモコン受光部に向けて使用してください。



特長

高音質

- **上級機譲りのオーディオ回路**
  上位クラスの SACD プレーヤーのオーディオ回路を踏襲し、クラスを超えた性能・音質を備えています。

- **ジッターリデューサー回路を搭載**
  これまでよりも、より高品位な再生を実現するために、ジッターリデューサー回路を搭載しました。S/N に優れた、より生の音に近い再生をお楽しみいただけます。

- **高音質電解コンデンサ**
  本機では、上級機にも使用しているデノンオリジナル高音質オーディオ用電解コンデンサを採用しています。

- **ハイビット・ハイサンプリングを実現した Advanced AL32 Processing Plus**
  デノン独自のデータ補間アルゴリズムによるハイビット、ハイサンプリング化を実現しました。16bit の音声信号を 32bit 精度へハイビット化、さらに 44.1kHz のサンプリング信号を 16 倍にアップサンプリングすることで、より滑らかな波形再現を実現します。また、データの補間は、補間ポイントの前後に存在する多数の点からあるべき点を推測し、より原音に近い理想的な点を補間します。デジタル録音時に失われたデータを精巧に復元することで、歪みのない繊細な描写、正確な音の定位、豊かな低域、原音に忠実な再生を実現しています。

- **クアルコム社製 DDFA™ テクノロジーを採用したフルデジタルプロセッシングのヘッドホンアンプを搭載**
  高速かつ極めて精度の高いデジタル・フィードバック・ループを用いることにより、飛躍的な音質向上を実現しています。

DDFA™

DDFA is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries, used with permission.

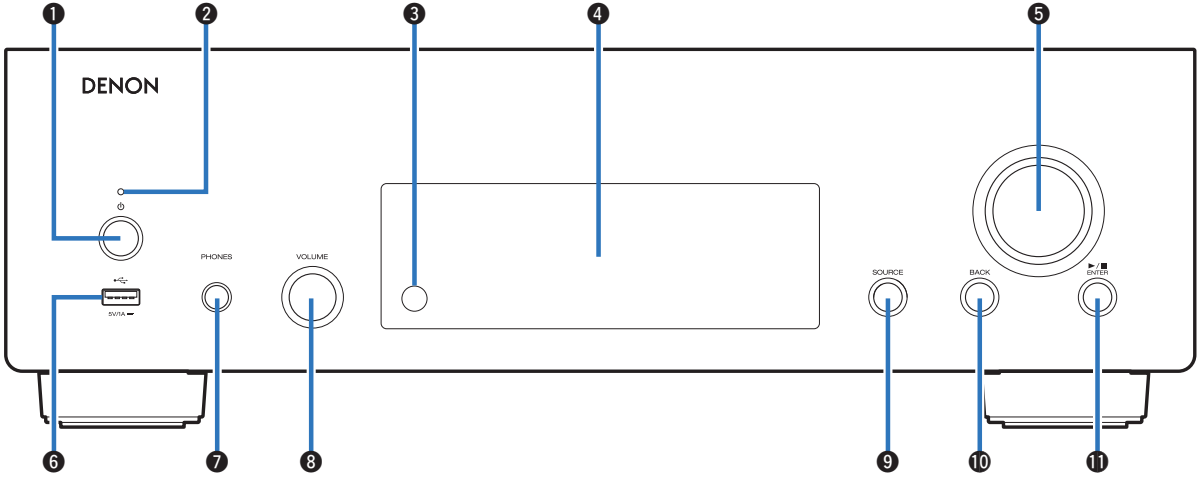
- **ノイズアイソレーション回路を採用**
  パソコンおよび COAXIAL 入力から音声信号と共に混入するノイズ成分を排除するアイソレート回路を搭載しました。高速なデジタルアイソレーターは信号ラインと外部機器の電気的な結合を遮断し、ノイズを含まない音声信号のみが伝送される回路構成となっています。さらに USB-B インターフェース回路ブロックは、パソコン側電源からのノイズの回り込みを防止するため、GND を含めトランス巻線を分離した専用の電源回路を搭載しています。

多彩な機能

- **USB とネットワーク経由による DSD と FLAC ファイルの再生**
  高解像度のオーディオフォーマットである DSD や FLAC 192kHz ファイルの再生に対応しています。高解像度ファイルの高音質再生を実現しています。
- **High Quality Audio 再生に対応**
  WAV/FLAC/ALAC (Apple Lossless Audio Codec)/AIFF/DSD
- **USB メモリー(MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALAC/AIFF/DSD)や iPod®/iPhone®の再生に対応**
- **DLNA(Digital Living Network Alliance) ver. 1.5 に準拠したネットワーク機能搭載**
- **Gapless 再生に対応**
  音楽ファイル間を途切れることなく再生できます。(WAV/FLAC/ALAC/AIFF/DSD のみ)
- **iPod®を接続することで自動的に充電開始、充電完了後、本機の状態に合わせて消費電力を最適化するスマート充電コントロール**
- **iPad®、iPhone®または Android スマートフォンで本機の基本的な操作がおこなえる Denon “Hi-Fi Remote” App(デノン・ハイファイ・リモート・アプリ)に対応**
- **3行表示可能な有機 EL ディスプレイ搭載**
- **電力消費を抑えるオートスタンバイモードを搭載**
- **デノン製 CD プレーヤー、プリメインアンプが Apps 経由で操作可能になる IR CONTROL 端子を搭載**
- **Wi-Fi Sharing および WPS に対応した Wi-Fi 接続ボタンを背面に搭載し、簡単なネットワーク接続が可能**
- **リモコンにヘッドホン音量を調節するモードを搭載**
  デノン製プリメインアンプ(別売り)の音量を調節するモードと本機のヘッドホン音量を調節するモードにリモコンの設定を切り替えることができます。
- **一部のソースにおいて、本体のジョグダイヤルにヘッドホン音量操作を割り当てる機能を搭載**
- **ゲイン切替機能を搭載**
  接続するヘッドホンの特性に合わせて切り替えられる、3 段階のゲインコントロール機能を備えています。
- **ダンピングファクター切替機能を搭載**
  ヘッドホンの特性に合わせて、お好みの音質に設定できます。

各部の名前

フロントパネル



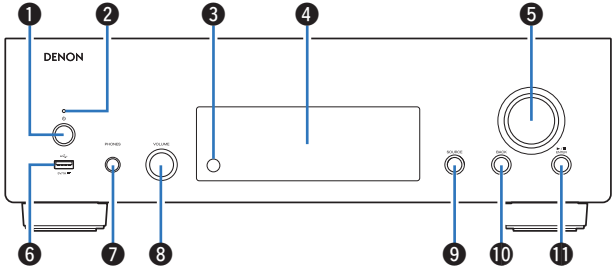
❶ 電源ボタン(⏻)

本機の電源をオン/オフ(スタンバイ)に切り替えます。

❷ 電源表示

本機の状態により次のように変わります。

- 電源オン時:緑色
- 通常のスタンバイ時:消灯
- “ネットワーク制御”の設定が“オン”のとき:赤色 (☞79 ページ)
- iPod の充電スタンバイ時:赤色 (☞45 ページ)



❸ **リモコン受光部**
リモコンからの信号を受信します。(☞7 ページ)

❹ **ディスプレイ**
再生状態や設定値などを表示します。

❺ **ジョグダイヤル**
項目を選択します。

❻ **USB 端子(⇠)**
iPod または USB メモリーを接続します。(☞23 ページ)

❼ **ヘッドホン端子(PHONES)**
ヘッドホンを接続します。
ヘッドホンのプラグを差し込むと、オーディオ出力端子およびデジタル音声出力端子から音が出なくなります。

ご注意
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。

❽ **ヘッドホン音量調整つまみ(VOLUME)**
ヘッドホンの音量を調節します。

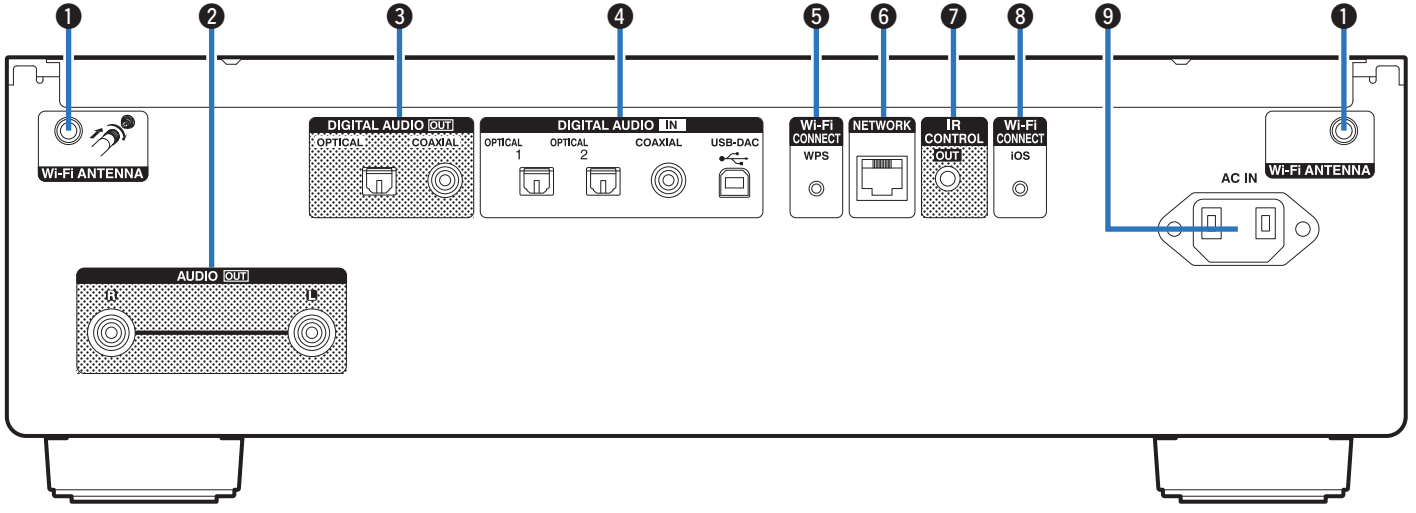
ご注意
- ヘッドホン接続時のみ調節できます。

❾ **入力ソース選択ボタン(SOURCE)**
入力ソースを選択します。

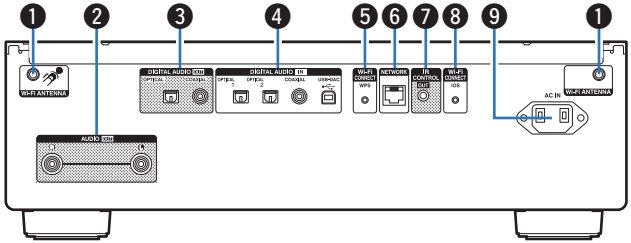
❿ **バックボタン(BACK)**
前の項目に戻ります。

⓫ **再生/一時停止/エンターボタン(►/❚❚/ENTER)**
再生、一時停止および選択した内容を確定します。

リアパネル



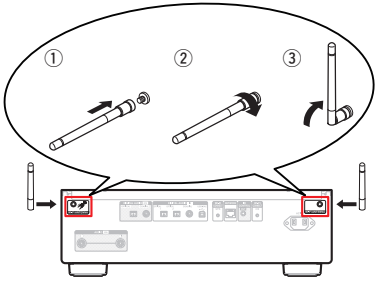
詳しくは、次のページをご覧ください。



❶ 無線 LAN 用ロッドアンテナ

無線 LAN でネットワークに接続する場合は、この端子に付属の無線 LAN 用外部アンテナを接続してご使用ください。(☞26 ページ)

① 無線 LAN 用外部アンテナをリアパネルのアンテナ端子と水平に合わせる。
② アンテナを右に回してしっかり締める。
③ 良い受信状態にするためにアンテナを立てる。



❷ オーディオ出力端子(AUDIO OUT)

アナログ音声端子付きの機器や外部のプリメインアンプを接続します。(☞19 ページ)

❸ デジタル音声出力端子(DIGITAL AUDIO OUT)

デジタル音声入力端子付きの AV レシーバーや D/A コンバーターを接続します。(☞20 ページ)

❹ デジタル音声入力端子(DIGITAL AUDIO IN)

パソコンやデジタル音声出力端子付きの機器を接続します。(☞21 ページ)

❺ Wi-Fi 接続ボタン(Wi-Fi CONNECT WPS)

無線 LAN 接続に使用します。
(別冊の「かんたん設定ガイド」をご覧ください。)

❻ ネットワーク端子(NETWORK)

本機をネットワークに接続します。(☞25 ページ)

❼ IR コントロール出力端子(IR CONTROL OUT)

リモートコントロール端子付きのデノン製アンプや CD プレーヤーを接続します。(☞28 ページ)

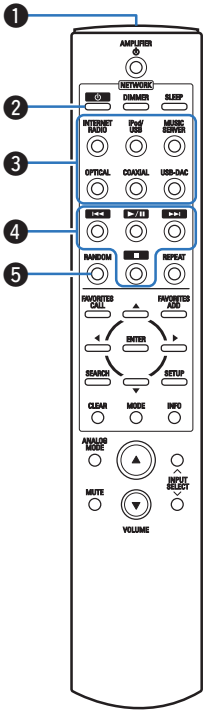
❽ Wi-Fi 接続ボタン(Wi-Fi CONNECT iOS)

iOS 接続に使用します。
(別冊の「かんたん設定ガイド」をご覧ください。)

❾ AC インレット(AC IN)

電源コードを接続します。(☞29 ページ)

リモコン



■ 本機の操作

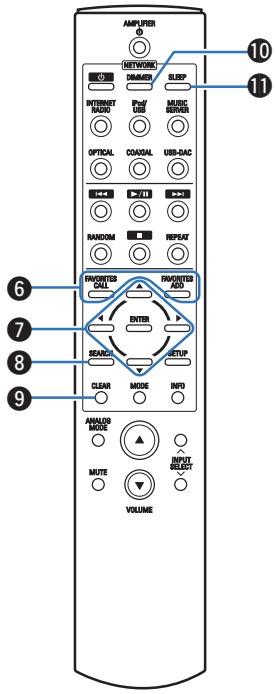
❶ リモコン信号送信窓
リモコンの信号を送信します。(☞7 ページ)

❷ 電源操作ボタン(⏻)
本機の電源をオン/ オフ(スタンバイ)に切り替えます。(☞31 ページ)

❸ 入力ソース選択ボタン
入力ソースを選択します。(☞31 ページ)

❹ システムボタン
再生に関する操作をします。

❺ ランダムボタン(RANDOM)
ランダム再生をします。



❻ お気に入り登録/ 呼び出しボタン(FAVORITES ADD / CALL)

- お気に入りリストに放送局やファイルを追加するときは FAVORITES ADD ボタンを押してください。(☞41 ページ)
- お気に入りリストに登録された放送局やファイルを呼び出すときは FAVORITES CALL ボタンを押してください。(☞41 ページ)

❼ カーソルボタン(△▽◁▷)

項目を選択します。

❽ サーチボタン(SEARCH)

サーチメニューを表示します。

❾ クリアボタン(CLEAR)

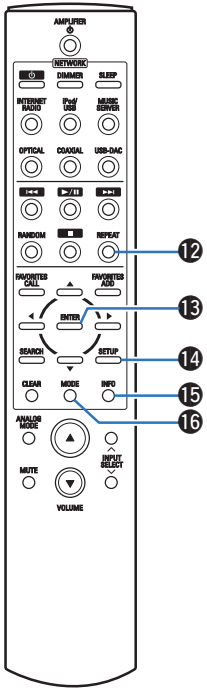
設定を取り消します。

❿ ディマーボタン(DIMMER)

本機のディスプレイの明るさを調節します。(☞70 ページ)

⓫ スリープボタン(SLEEP)

スリープタイマーを設定します。(☞70 ページ)



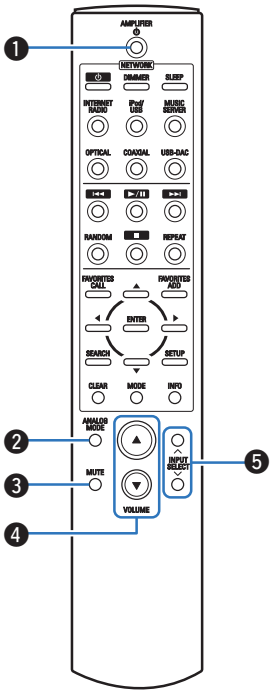
⓬ リピートボタン(REPEAT)
リピート再生をします。

⓭ エンターボタン(ENTER)
選択した内容を確定します。

⓮ セットアップボタン(SETUP)
ディスプレイに設定メニューを表示します。(☞74 ページ)

⓯ インフォメーションボタン(INFO)
アルバム名やタイトル名などを表示します。

⓰ モードボタン(MODE)
- iPod の表示モードを切り替えます。(☞44 ページ)
- MODE と VOLUME ▼ を同時押しすると、ヘッドホン音量をリモコンで調節できるモードにリモコンの設定を切り替えます。(☞70 ページ)



■ アンプの操作

デノン製アンプを操作できます。

❶ 電源ボタン(AMPLIFIER ⏻)
❷ アナログモードボタン(ANALOG MODE)
❸ ミュートボタン(MUTE)
❹ 音量調節ボタン(VOLUME ▲▼)
❺ 入力ソース切り替えボタン (INPUT SELECT)

ご注意

- 一部操作ができない製品もあります。

接続のしかた

■ 目次

アンプを接続する	19
デジタル音声入力端子付きの機器を接続する	20
デジタル音声出力端子付きの機器を接続する	21
パソコンと接続する	22
USB 端子に iPod または USB メモリーを接続する	23
ホームネットワーク(LAN)に接続する	25
IR コントロール端子に接続する	28
電源コードを接続する	29

ご注意

- すべての接続が終わるまで電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続ケーブルは、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。雑音の原因となることがあります。

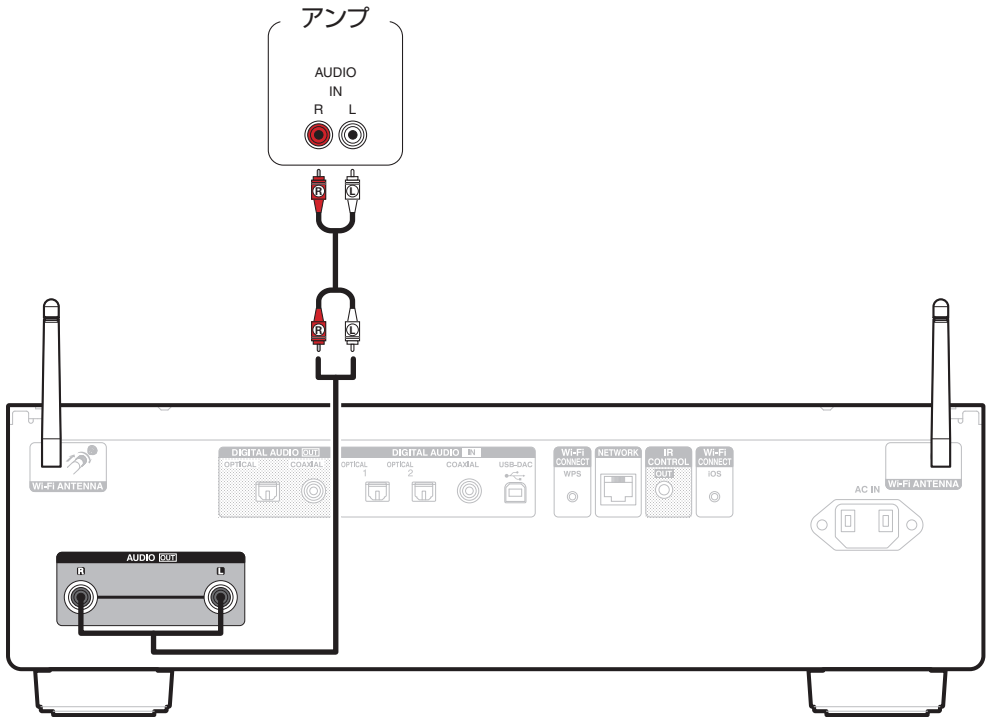
■ 接続に使用するケーブル

接続する機器に合わせて、必要なケーブルをご用意ください。

オーディオケーブル(付属)	
IR コントロールケーブル(付属)	
光伝送ケーブル(別売り)	
同軸デジタルケーブル(別売り)	
USB ケーブル(別売り)	
LAN ケーブル(別売り)	

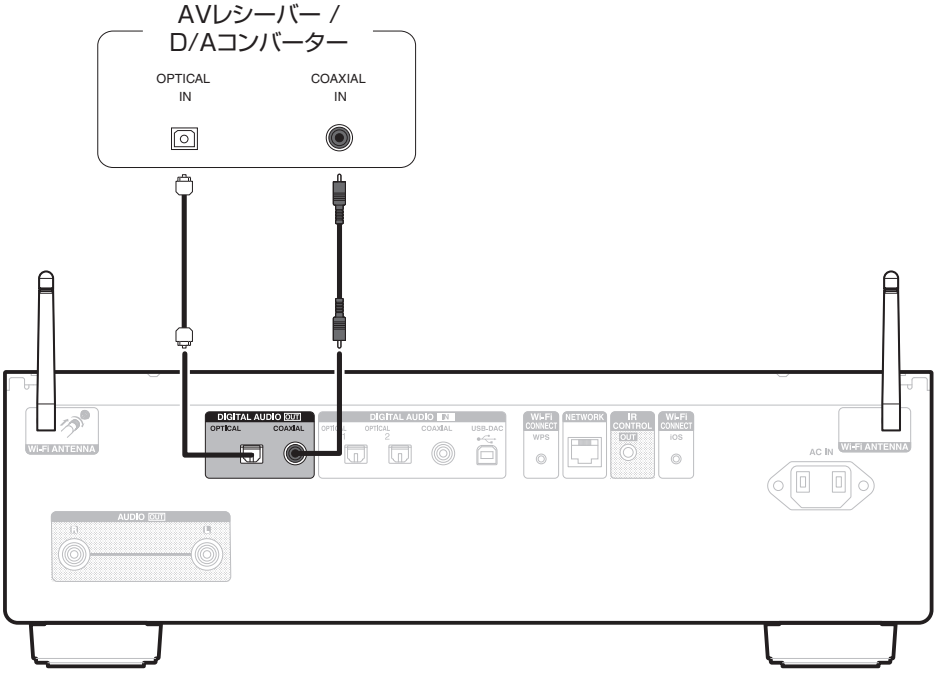
アンプを接続する

アナログ音声入力端子を持つ機器と接続します。



デジタル音声入力端子付きの機器を接続する

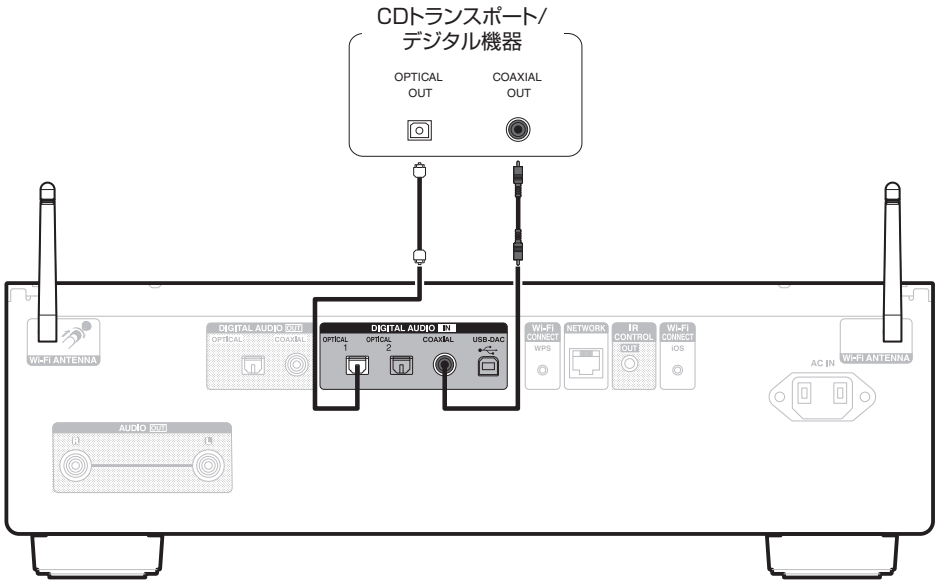
本機からデジタル音声信号を出力し、接続した機器の D/A コンバーターで D/A 変換をおこなって再生する接続です。



- USB-DAC（DSD 信号、サンプリング周波数が 352.8/384kHz のリニア PCM 信号）、およびサンプリング周波数が 32kHz のファイルの再生中は、デジタル音声出力を停止します。

デジタル音声出力端子付きの機器を接続する

本機にデジタル音声信号を入力し、本機の D/A コンバーターで D/A 変換をおこなって再生する接続です。(☞59 ページ)



ご注意

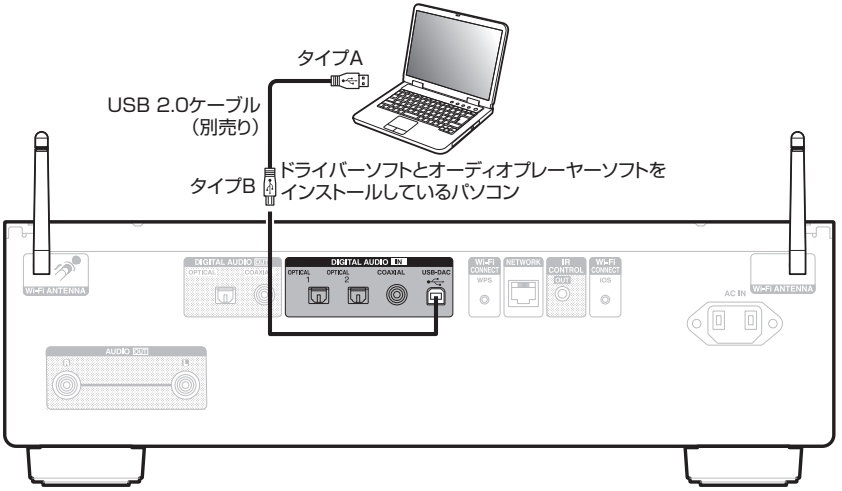
- 本機に入力できるのは、サンプリング周波数が 32kHz、44.1kHz、48kHz、88.2kHz、96kHz、176.4kHz、192kHz のリニア PCM 信号です。
- ドルビーデジタル、DTS、AAC などのリニア PCM 信号以外の信号は入力しないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。

パソコンと接続する

本機のリアパネルの USB 端子(USB-DAC)とパソコンを USB ケーブル(別売り)で接続すると、パソコンの音楽データを本機の D/A コンバーターで再生できます。(☞50 ページ)

ご注意

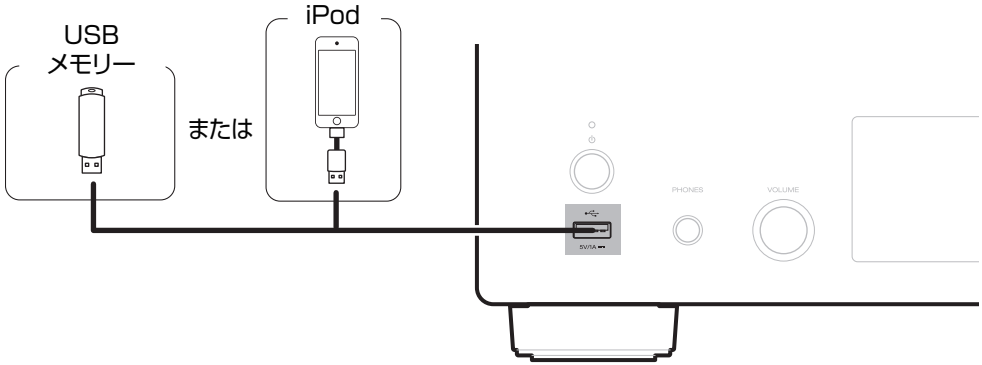
- 本機とパソコンを USB 接続する前にパソコンに専用ドライバーソフトをインストールしてください。(☞50 ページ)
- ドライバーソフトは当社ウェブサイトの DNP-2500NE のページからダウンロードしてください。
- パソコンとの接続には、3m 以下のケーブルをご使用ください。



USB端子にiPodまたはUSBメモリーを接続する

iPod/iPhone や USB メモリー内の音楽を楽しむことができます。

- 本機と iPod/iPhone を接続するときは、iPod/iPhone に付属の USB ケーブルを使用してください。
- 操作のしかたは、「iPod を再生する」(☞42 ページ)または「USB メモリーに保存されているファイルを再生する」(☞47 ページ)をご覧ください。



- すべての USB メモリーに対して、動作および電源の供給を保証するものではありません。USB 接続タイプのポータブル HDD で、AC アダプターを接続して電源が供給できるタイプのものを使用する場合は、AC アダプターのご使用をおすすめします。

ご注意

- USB メモリーは USB ハブ経由では動作しません。
- 本機のフロントパネルの USB 端子とパソコンを USB ケーブルで接続して使用することはできません。パソコンと接続するときは、リアパネルのデジタル音声入力の USB-DAC 端子(タイプ B)と接続してください。
- USB メモリーを接続するときに、延長ケーブルを使用しないでください。他の機器に電波障害を引き起こす場合があります。

■ 対応している iPod/iPhone

- iPod classic

iPod classic
80GB

iPod classic
160GB (2007)

iPod classic
160GB (2009)

- iPod nano

iPod nano
3rd generation
(video)
4GB 8GB

iPod nano
4th generation (video)
8GB 16GB

iPod nano
5th generation (video camera)
8GB 16GB

iPod nano
6th generation
8GB 16GB

iPod nano
7th generation
16GB

- iPod touch

iPod touch
2nd generation
8GB 16GB 32GB

iPod touch
3rd generation
32GB 64GB

iPod touch
4th generation
8GB 16GB 32GB 64GB

iPod touch
5th generation
16GB 32GB 64GB

- iPod touch

iPod touch
2nd generation
8GB 16GB 32GB

iPod touch
3rd generation
32GB 64GB

iPod touch
4th generation
8GB 16GB 32GB 64GB

iPod touch
5th generation
16GB 32GB 64GB

- iPod touch

iPod touch
2nd generation
8GB 16GB 32GB

iPod touch
3rd generation
32GB 64GB

iPod touch
4th generation
8GB 16GB 32GB 64GB

iPod touch
5th generation
16GB 32GB 64GB

- iPod touch

iPod touch
2nd generation
8GB 16GB 32GB

iPod touch
3rd generation
32GB 64GB

iPod touch
4th generation
8GB 16GB 32GB 64GB

iPod touch
5th generation
16GB 32GB 64GB

- iPhone

iPhone 3G
8GB 16GB

iPhone 3GS
8GB 16GB 32GB

iPhone 4
8GB 16GB 32GB

iPhone 4S
16GB 32GB 64GB

iPhone 5
iPhone 5c iPhone 5s
16GB 32GB 64GB

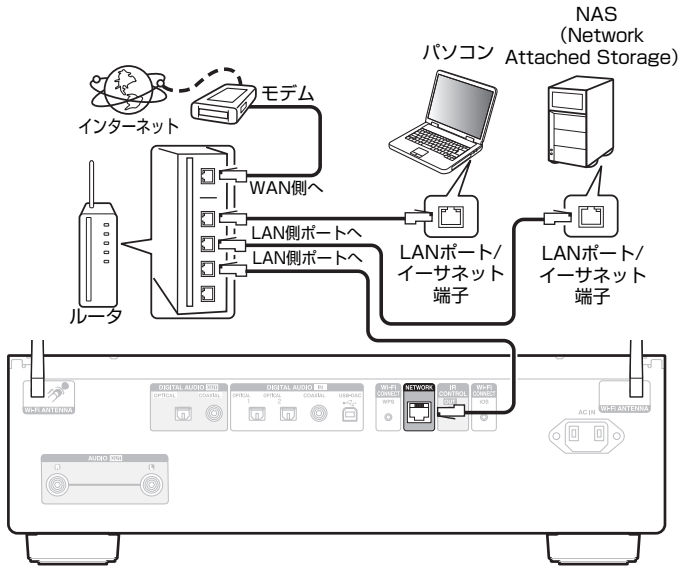
ホームネットワーク(LAN)に接続する

本機はホームネットワーク(LAN)に接続して、次のさまざまな再生や操作をおこなうことができます。

- インターネットラジオやミュージックサーバーなどのネットワークオーディオの再生
- AirPlay 再生
- ネットワークを経由した本機の操作
- ファームウェアのアップデート

有線LAN

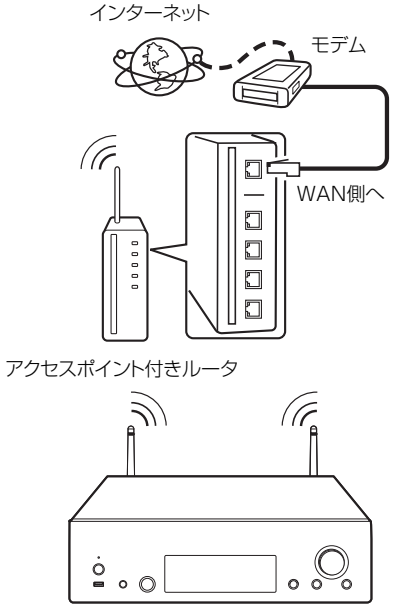
有線 LAN で接続する場合は、図のようにルータと本機を LAN ケーブルで接続してください。



インターネットの接続については、ISP(インターネット・サービスプロバイダ)またはパソコン関連販売店にお問い合わせください。

無線LAN

無線 LAN でネットワークに接続する場合は、無線 LAN 用外部アンテナをリアパネルに接続し、アンテナを立ててご使用ください。無線 LAN ルータとの接続方法は、“接続の設定”をご覧ください。(☞80 ページ)



- 本機は DHCP 機能や Auto IP 機能を使用して、自動的にネットワークの設定ができます。
- ブロードバンドルータ(DHCP 機能)をご使用の場合は、本機が自動的に IP アドレスなどの設定をおこないます。DHCP 機能のないネットワークに本機を接続してご使用になる場合は、設定メニューの“ネットワーク”で IP アドレスなどの設定をおこなってください。(☞79 ページ)
- 本機を使用するにあたって、次の機能が装備されているルータをおすすめします。
  - DHCP サーバー内蔵
    LAN 上の IP アドレスを自動的に割り振る機能です。
  - 100BASE-TX スイッチ内蔵
    複数の機器を接続するために、100Mbps 以上の速度で、スイッチングハブを内蔵していることをおすすめします。
- STP タイプまたは ScTP タイプのシールド LAN ケーブルを使用してください。(CAT-5 以上を推奨)
- LAN ケーブルは、シールド付きのノーマルタイプをおすすめします。フラットタイプのケーブルやシールドされていないケーブルを使用すると、ノイズが他の機器に影響を及ぼす可能性があります。
- WPS(Wi-Fi Protected Setup)機能に対応したルータを使用すると、本機の Wi-Fi CONNECT/WPS ボタンを使用して簡単に Wi-Fi 接続することができます。(別冊の「かんたん設定ガイド」をご覧ください。)

ご注意

- ISP 業者によって使用できるルータの種類が異なります。詳しくは、ISP 業者またはパソコン関連販売店にお問い合わせください。
- 本機は PPPoE に対応していません。PPPoE で設定するタイプの回線契約を結んでいる場合は、PPPoE 対応のルータが必要です。
- NETWORK 端子は、直接パソコンの LAN ポート/イーサネット端子と接続しないでください。
- 電気通信端末機器認定品の市販ルータ等に LAN 接続してください。
- アンテナを持って本機を動かさないでください。

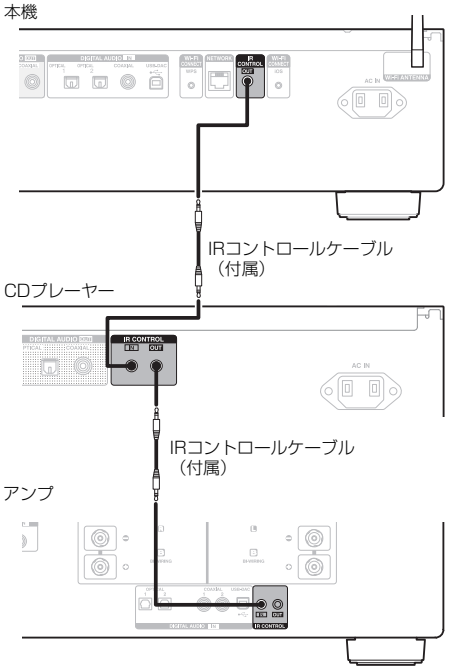
IR コントロール端子に接続する

本機とデノン製のアンプや CD プレーヤーとの組み合わせで接続すると、Denon “Hi-Fi Remote” App(デノン・ハイファイ・リモート・アプリ)を使うことでアンプや CD プレーヤーを本機経由でコントロールできます。

■ 接続

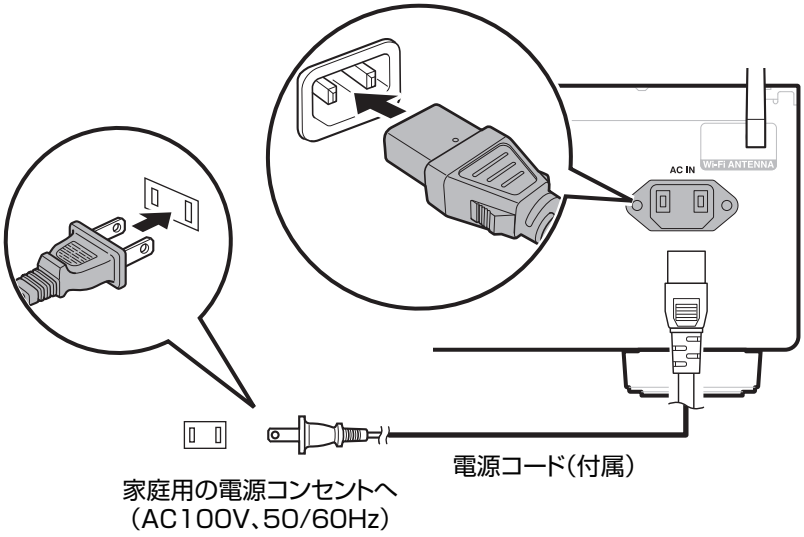
付属の IR コントロール接続ケーブルで、本機の IR CONTROL OUT 端子とアンプまたは CD プレーヤーの IR CONTROL IN 端子を接続します。

- CD プレーヤーを接続せずに本機とアンプのみご使用になる場合は、本機の IR CONTROL OUT 端子とアンプの IR CONTROL IN 端子を接続してください。
- リアパネルに IR CONTROL 端子または REMOTE CONTROL 端子があるデノン製のアンプや CD プレーヤーのみ接続できます。



電源コードを接続する

すべての接続が完了したら、電源プラグをコンセントに差し込みます。



再生のしかた

■ 目次

基本操作

電源を入れる 31
入力ソースを選ぶ 31

機器を再生する

iPod を再生する 42
USB メモリーを再生する 46
D/A コンバーター機能で再生する (USB-DAC) 49

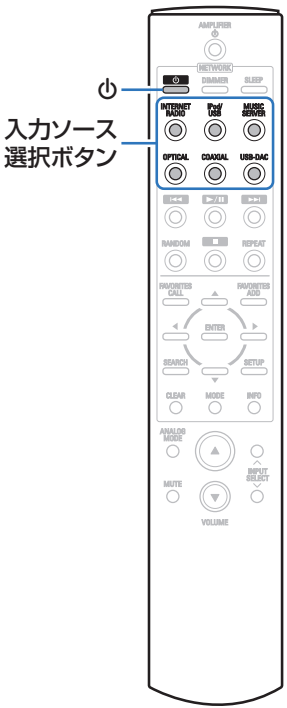
ネットワークオーディオ/サービスを再生する

インターネットラジオを聴く 32
パソコンや NAS に保存されているファイルを再生する 36
AirPlay 機能 60

その他の機能

お気に入り機能 40
Remote play 機能 62
ウェブコントロール機能 65
便利な機能 69

基本操作



電源を入れる

1 **⏻ を押して、電源を入れる。**

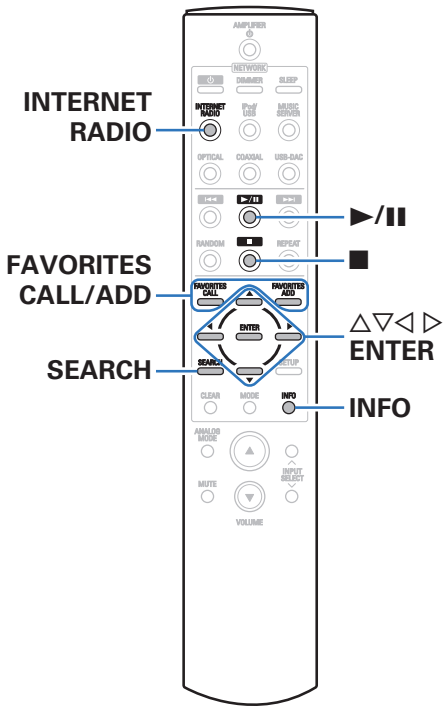
- 本体の ⏻ を押しても電源を入れることができます。

入力ソースを選ぶ

1 **再生する入力ソース選択ボタンを押す。**
入力ソースをダイレクトに選択できます。

- 本体の SOURCE を押しても、入力ソースを選択できます。

インターネットラジオを聴く



- インターネットラジオとは、インターネット上に配信されているラジオ放送です。世界中のインターネットラジオ放送を聴くことができます。
- 本機で再生できる音声フォーマットの種類は、次のとおりです。詳しくは、「インターネットラジオ局の再生について」(☞104ページ)をご覧ください。
  - WMA
  - MP3
  - MPEG-4 AAC

インターネットラジオを聴く

本機は前回再生したインターネットラジオ局を記憶しています。INTERNET RADIO を押すと、他の入力ソースからインターネットラジオに切り替わり、前回再生していたインターネットラジオ局を再生します。

1 再生の準備をする。

- ネットワーク環境を確認してから、本機の電源を入れる。(☞25 ページ)

2 INTERNET RADIO を押す。

3 △▽ を押して再生したい項目を選び、ENTER を押す。

日本:	日本の一般的なインターネットラジオ局を表示します。
ラジオ局の検索:	本機で受信できるすべてのインターネットラジオ局を表示します。
Podcasts の検索:	本機で受信できるポッドキャスト内のインターネットラジオ局を表示します。
お奨めのラジオ局:	おすすめのインターネットラジオ局を表示します。
radiodenon.com:	vTuner でお気に入りに登録しているインターネットラジオ局を表示します。vTuner でのお気に入り登録のしかたは、「vTuner でインターネットラジオ局をお気に入り登録する」(☞34 ページ)をご覧ください。
最近再生したラジオ局:	最近再生したインターネットラジオ局を表示します。最大 20 局まで“最近再生したラジオ局”へ自動的に記憶します。
文字列による検索:	キーワード検索したインターネットラジオ局を表示します。文字の入力方法については、「文字入力について」(☞75 ページ)をご覧ください。

4 △▽ を押してラジオ局を選び、ENTER を押す。

バッファリングが“100%”表示になると、再生をはじめます。

操作ボタン	機能
▶/❚❚	再生
■	停止
FAVORITES CALL	お気に入りリストからの呼び出し
FAVORITES ADD	お気に入りリストへの追加
SEARCH	文字検索 • リストがアルファベット順に並んでいない場合、文字検索ができないことがあります。
△▽◁▷	項目の選択
ENTER	選択項目の決定
INFO	ファイルタイプ/ビットレートや放送局名などの表示を切り替えます。

• ディスプレイ表示に対応していない文字は、“ . ”(ピリオド)に置き換えて表示します。

ご注意

• ラジオ局データベースサービスは、予告なく停止する場合があります。

vTunerでインターネットラジオ局をお気に入り登録する

世界中にはたくさんのインターネットラジオ局があり、本機はそれらを受信できます。しかし、ラジオ局が多すぎるために聴きたい放送を探すのは大変です。そこで本機専用のインターネットラジオ局検索ウェブサイト vTuner を使用してください。お手持ちのパソコンを使用して、インターネットラジオ局の検索と登録ができます。本機では vTuner に登録したラジオ局を再生できます。

1 本機の MAC アドレスを確認する。「ネットワーク情報」(☞79 ページ)

• MAC アドレスは、vTuner のアカウント作成の際に必要になります。

2 お手持ちのパソコンから vTuner のサイト (http://www.radiodenon.com)にアクセスする。

3 本機の MAC アドレスを入力し、“Go”をクリックする。

4 パソコンの E-mail アドレスと任意のパスワードを入力する。

5 **お好みで検索条件(ジャンル/ 地域/ 言語など)を選ぶ。**

- キーワードを入力し、聴きたい曲を探すこともできます。

6 **表示されたリストからお好みのラジオ局を選び、お気に入り登録アイコンをクリックする。**

7 **お気に入りグループ名を入力し、“Go”をクリックする。**

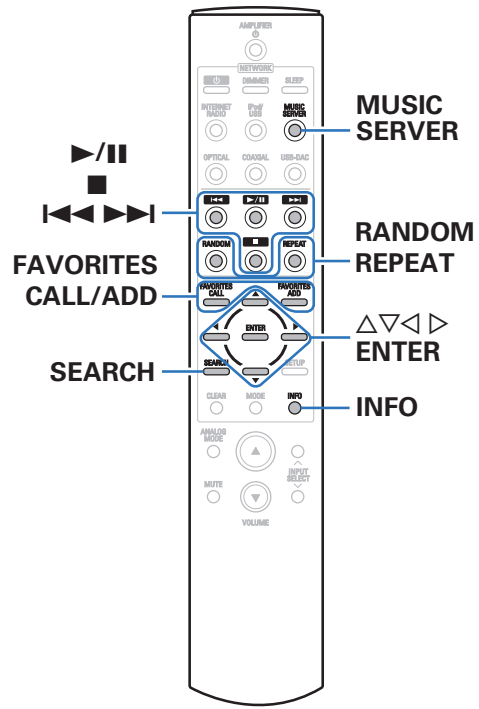
選択されたラジオ局が入ったお気に入りグループを新たに作成します。

- vTuner のお気に入りに登録したインターネットラジオ局は、本機の“ radiodenon.com”(☞33 ページ)から再生できます。

■ 再生できるファイルについて

「インターネットラジオ局の再生について」(☞104 ページ)をご覧ください。

パソコンやNASに保存されているファイルを再生する



- 本機では、パソコンや DLNA 対応のネットワーク接続ストレージ(NAS)に保存されている音楽ファイルやプレイリスト(m3u、wpl)を再生できます。
- 本機のネットワークオーディオ再生機能では、次の技術を利用してサーバーに接続します。
  - Windows Media Player Network Sharing Service
- 本機で再生できる音声フォーマットの種類は、次のとおりです。詳しくは、「パソコンや NAS に保存されているファイルを再生する」(☞106 ページ)をご覧ください。
  - WMA
  - MP3
  - WAV
  - MPEG-4 AAC
  - FLAC
  - ALAC
  - AIFF
  - DSD

メディアの共有設定をおこなう

パソコンや NAS に保存されている音楽ファイルをネットワーク上で共有するための設定をおこないます。
Windows Media Player をミュージックサーバーとして使用する場合は、あらかじめ次の設定をおこなってください。
Windows Media Player 以外のミュージックサーバーを使用する場合は、お使いのミュージックサーバーのヘルプ内容を参考に設定をおこなってください。

■ Windows Media Player 12(Windows 7/ Windows 8/Windows 8.1/Windows 10)を使用する場合

1 パソコンで Windows Media Player 12 を起動する。

2 “ストリーム”から“その他のストリーミング　オプション...”を選ぶ。

3 “Denon DNP-2500NE”のドロップダウンリストで“許可”を選ぶ。

4 “この PC とリモート接続のメディアプログラム...”のドロップダウンリストで“許可”を選ぶ。

5 画面に従い、設定を終了する。

■ Windows Media Player 11 を使用する場合

1 パソコンで Windows Media Player 11 を起動する。

2 “ライブラリ”から“メディアの共有”を選ぶ。

3 “メディアを共有する”をチェックして“Denon DNP-2500NE”を選び、“許可”をクリックする。

4 手順 3 と同様に、メディアコントローラーとして使用したい機器(他のパソコンやモバイル端末)のアイコンを選び、“許可”をクリックする。

5 “OK”をクリックして終了する。

■ NAS に保存したメディアを共有する

本機およびメディアコントローラーとして使用したい機器(他のパソコンやモバイル端末)が NAS にアクセスできるように NAS の設定を変更してください。詳しくは、ご使用の NAS に付属の取扱説明書をご覧ください。

パソコンやNASに保存されているファイルを再生する

音楽ファイルやプレイリストを再生できます。

1 再生の準備をする。

① ネットワーク環境を確認してから、本機の電源を入れる。「ホームネットワーク(LAN)に接続する」(☞25 ページ)

② パソコンの準備をする(☞ パソコンの取扱説明書)。

2 MUSIC SERVER を押す。

3 △▽ を押して再生したいファイルのあるサーバーを選び、ENTER を押す。

4 △▽ を押してファイルを選び、ENTER を押す。

バッファリングが“100%”表示になると、再生をはじめます。

操作ボタン	機能
►/❚❚	再生/一時停止 • フォルダを選んで ►/❚❚ を押すと、フォルダ内の全てのファイルを再生します。
■	停止
⏮ ⏭	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ
	(長押し) 早戻し/早送り
FAVORITES CALL	お気に入りリストからの呼び出し
FAVORITES ADD	お気に入りリストへの追加
SEARCH	文字検索 • リストがアルファベット順に並んでいない場合、文字検索ができないことがあります。
RANDOM	ランダム再生
REPEAT	リピート再生 • 1 曲リピートと全曲リピートを切り替えます。
△ ▽ ◁ ▷	項目の選択
ENTER	選択項目の決定
INFO	ファイルタイプ/ビットレートやアーティスト名、アルバム名および入力ソース名の表示切り替え

■ 再生できるファイルについて

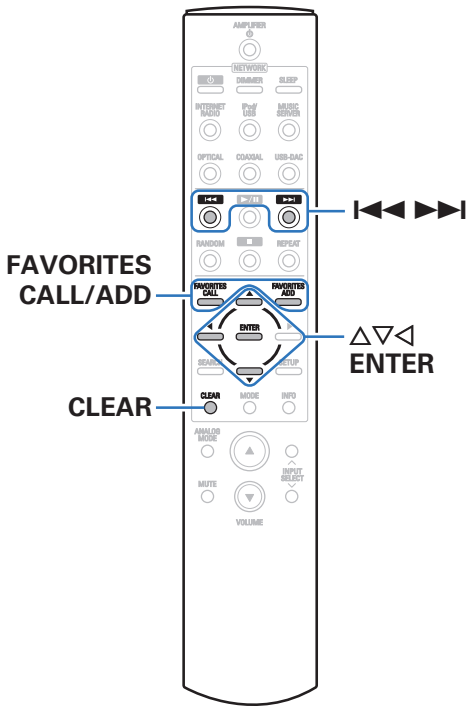
「パソコンや NAS に保存されているファイルを再生する」(☞106 ページ)をご覧ください。

- Windows Media Player(バージョン 11 以上)などのトランスコードに対応したサーバーをご使用になる場合は、WMA Lossless ファイルを再生できます。

ご注意

- 無線 LAN を経由して接続されたパソコンまたは NAS で音楽ファイルを再生すると、無線 LAN 環境に応じて音声が中断されることがあります。この場合は、有線 LAN で接続してパソコンや NAS との音楽ファイルを再生してください。
- 曲の表示順は、サーバーの仕様によって異なります。サーバーの仕様によって、曲の表示順がアルファベット順にならない場合は、頭文字での検索が正しく動作しないことがあります。

お気に入り機能



ここではお気に入り機能について説明します。

- お気に入り機能とは、好きな放送局やファイルをあらかじめお気に入りリストに登録することにより、いつでもすぐに好きな放送局やファイルを呼び出して聴くことができる機能です。
- 登録や呼び出しが可能なコンテンツは、インターネットラジオ、ミュージックサーバー、USB および iPod です(“On-Display”モード時のみ)。
- お気に入りリストには最大 50 個の放送局やファイルを登録できます。

放送局またはファイルをお気に入りリストに登録する

1 **登録したい放送局やファイルを再生中に FAVORITES ADD を押す。**

2 **△▽ を押して再生中の放送局またはファイルを登録する番号を選び、ENTER を押す。**
“お気に入りに追加”を表示し、登録を完了します。

お気に入りリストに登録した放送局またはファイルを呼び出す

1 **FAVORITES CALL を押す。**

2 **⏮ ⏭ または △▽ を押して呼び出したい放送局またはファイルを選び、ENTER を押す。**
各ソースに移行して、再生をはじめます。

お気に入りリストに登録した放送局やファイルを再生中、登録した放送局またはファイルを切り替える

1 **⏮ ⏭ または △▽ を押す。**

お気に入りリストから放送局またはファイルを削除する

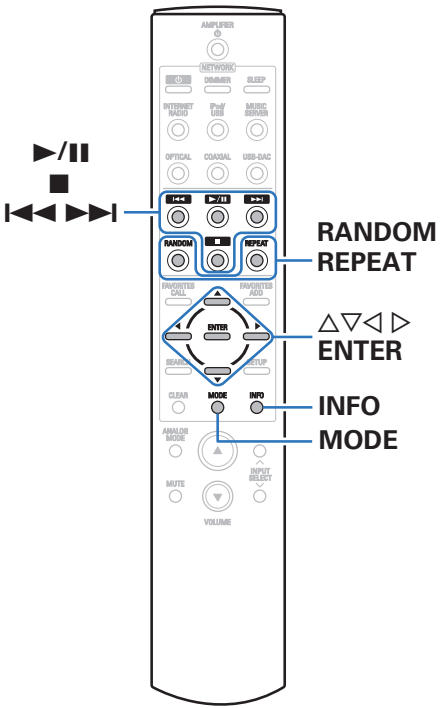
1 **FAVORITES CALL を押す。**

2 **△▽ を押して削除したい放送局またはファイルを選び、CLEAR を押す。**

3 **“削除しますか？”が表示されたら ENTER を押す。**
“削除しました。”を表示し、削除を完了します。

- 操作を中止するときは、◁ を押してください。

iPodを再生する



- iPod に付属している USB ケーブルを使用して iPod を本機の USB 端子に接続すると、iPod の音楽を楽しむことができます。
- 本機で再生できる iPod は、「対応している iPod/iPhone」(☞24 ページ)をご覧ください。

iPod の音楽を聴く

1 iPod を本機フロントパネルの USB 端子(タイプ A)に接続する。(☞23 ページ)

iPod を USB 端子に接続すると、自動的に入力ソースが“iPod/USB”に切り替わります。

2 iPod の画面を見ながら直接 iPod 本体を操作して、音楽を再生する。

- iPod の表示モードには、“From iPod”と“On-Display”があります。お買い上げ時の設定は、iPod の画面を見ながら直接 iPod 本体を操作する“From iPod”です。
- iPod の情報を本機のディスプレイに表示させて操作する“On-Display”に変更したい場合は、「オペレーションモードの設定(“On-Display”モード)」(☞44 ページ)をご覧ください。
- iPod の音楽は、「AirPlay 機能」(☞60 ページ)を使用しても聴くことができます。

ご注意

- iPod の種類またはソフトウェアのバージョンによっては、機能の一部が動作しない場合があります。
- 万一 iPod のデータが消失または損傷しても、当社は一切責任を負いません。

オペレーションモードの設定（“On-Display”モード）

このモードでは、iPod の各種リストや再生中の表示を本機のディスプレイに表示します。
ここでは、“On-Display”で iPod 内の曲を再生するまでの手順を説明します。

1 **MODE を押して、“On-Display”を表示させる。**

2 **△▽ を押して再生したいファイルを選び、ENTER を押す。**

再生をはじめます。

表示モード		From iPod	On-Display
再生できるファイル	音楽ファイル	✓	✓
	映像ファイル	*	
操作できるボタン	本機のリモコン	✓	✓
	iPod	✓	

* 音声のみ再生します。

操作ボタン	機能
►/II	再生/一時停止
■	停止
I◄◄ ►►I	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ （長押し） 早戻し/早送り
RANDOM	ランダム再生
REPEAT	リピート再生 • 1 曲リピートと全曲リピートを切り替えます。
MODE	On-Display と From iPod を切り替えます
△ ▽ ◁ ▷	項目の選択
ENTER	選択項目の決定
INFO	アーティスト名とアルバム名、および入力ソース名の表示切り替え

ご注意

- 万一 iPod のデータを消失または損傷しても、弊社は一切責任を負いません。
- iPod の種類またはソフトウェアのバージョンによっては、機能の一部が動作しない場合があります。

iPod/iPhoneの充電

iPodやiPhoneをUSB端子に接続すると、充電ができます。

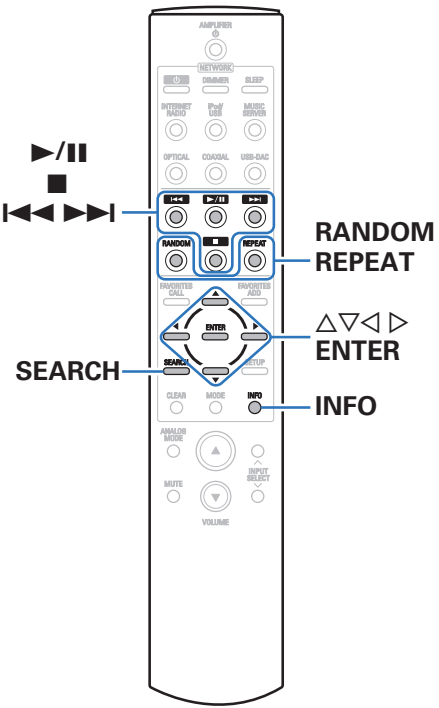
■ スタンバイ充電

iPodやiPhoneを充電中に本機がスタンバイ状態に入った場合、スタンバイ充電モードに切り替えて、iPodやiPhoneを充電します。スタンバイ充電モードでは、電源表示が赤色に変わります。

iPodやiPhoneが完全に充電されると、電源表示が消灯し、通常のスタンバイ状態になります。

- “ネットワーク制御”の設定が“オン”のときは、充電完了後も電源表示は赤色に点灯します。(☞79 ページ)

USB メモリーを再生する



- USB メモリーに保存されている音楽ファイルを再生できます。
- 本機は、マスストレージクラスおよび MTP(Media Transfer Protocol)に対応している USB メモリーのみ再生できます。
- USB メモリーは、FAT16 または FAT32 フォーマットに対応しています。
- 本機で再生できる音声フォーマットの種類は、次のとおりです。詳しくは、「USB メモリーを再生する」(☞103 ページ)をご覧ください。
  - MP3
  - WMA
  - WAV
  - MPEG-4 AAC
  - FLAC
  - ALAC
  - AIFF
  - DSD

USB メモリーに保存されているファイルを再生する

1 USB メモリーを本機フロントパネルの USB 端子(タイプ A)に接続する。(☞23 ページ)

USB メモリーを USB 端子に接続すると、自動的に入力ソースが“iPod/USB”に切り替わります。

2 △▽ を押して再生したいファイルを選び、ENTER を押す。

再生をはじめます。

操作ボタン	機能
►/II	再生/一時停止 • フォルダを選んで ►/II を押すと、フォルダ内の全てのファイルを再生します。
■	停止
I◄◄ ►►I	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ
	(長押し) 早戻し/早送り
RANDOM	ランダム再生
REPEAT	リピート再生 • 1 曲リピートと全曲リピートを切り替えます。
SEARCH	文字検索 • リストがアルファベット順に並んでいない場合、文字検索ができないことがあります。
◁	1 つ上の階層に移動
△▽	項目の選択
ENTER	項目の決定/ファイルの再生
INFO	アーティスト名とアルバム名、および入力ソース名の表示切り替え

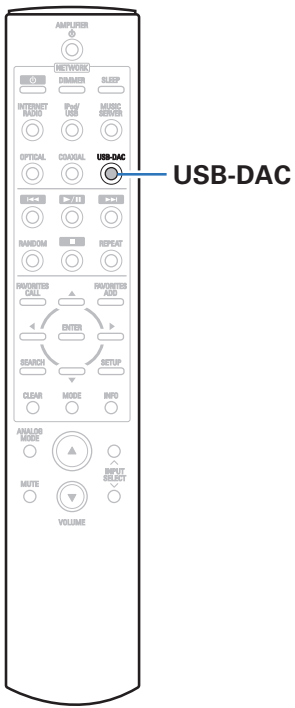
ご注意

- USB メモリーを本機と接続して使用しているときに、万一 USB メモリーのデータが消失または損傷した場合、当社は一切責任を負いません。

■ 再生できるファイルについて

「USB メモリーを再生する」(☞103 ページ)をご覧ください。

D/A コンバーター機能で再生する (USB-DAC)



外部機器やパソコンから本機に入力されるデジタル音声信号を、本機でアナログ変換して出力できます。(D/A コンバーター機能)

- DSD は、登録商標です。
- Microsoft、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1 と Windows 10 は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- ASIO は、Steinberg Media Technologies GmbH の登録商標です。
- Apple、Macintosh、Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。

パソコンと接続して再生する (USB-DAC)

パソコンに保存している音楽ファイルを USB 接続で本機に入力すると、本機に搭載している D/A コンバーターで、高音質な音楽再生をお楽しみいただけます。

- 本機とパソコンを USB 接続する前にパソコンに専用ドライバーソフトをインストールしてください。
- Mac OS をご使用の場合は、ドライバーソフトのインストールは必要ありません。
- パソコンの再生プレーヤーには市販品またはダウンロード可能なお好みのプレーヤーソフトをご使用ください。

■ パソコン(動作環境)

OS

- Windows 7、Windows 8、Windows 8.1 および Windows 10
- Mac OS X 10.9、10.10 および 10.11

USB

- USB 2.0: USB High speed/USB Audio Class Ver. 2.0

ご注意

- 当社ではこれらの動作環境で確認をしていますが、すべてのシステムでの動作を保証するものではありません。

Windows OS 専用ドライバーソフトのインストール(☞50 ページ)

Mac OS オーディオ装置の確認(☞57 ページ)

■ 専用ドライバーソフトのインストール (Windows OS のみ)

❑ パソコンへドライバーソフトをインストールする方法

1 本機とパソコンの USB 接続を外す。

- 本機とパソコンを USB 接続しているとドライバーソフトを正しくインストールできません。
- パソコンにドライバーソフトをインストールする前に、本機と USB 接続してパソコンを立ち上げた場合、USB 接続を外して、パソコンを再起動してください。

2 ご使用のパソコンに、当社ウェブサイト DNP-2500NE のページの“ダウンロード”から専用ドライバーをダウンロードする。

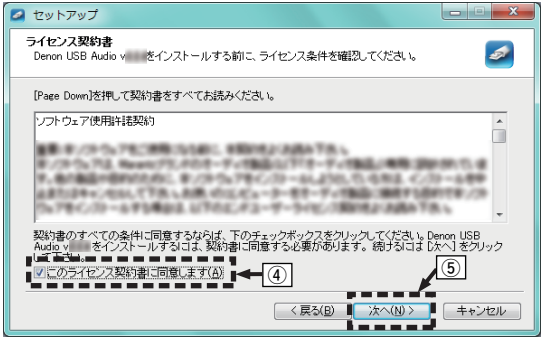
3 ダウンロードファイルを解凍し、exe ファイルをダブルクリックする。

4 ドライバーソフトをインストールする。

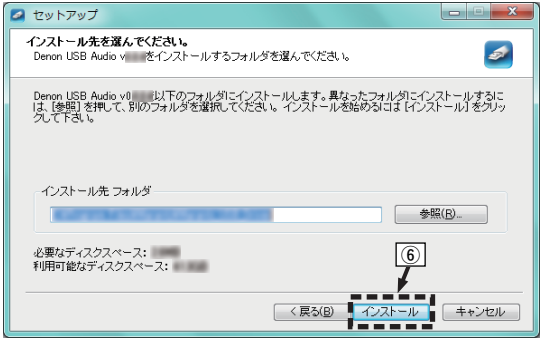
① インストール作業をおこなう言語を選ぶ。
② “OK”をクリックする。

③ ウィザードメニューが表示されたら “次へ(N)”をクリックする。

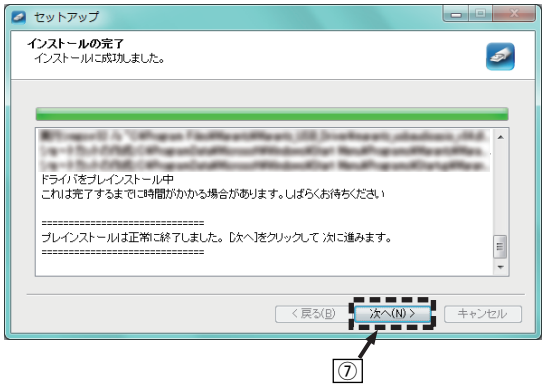
④ ソフトウェア使用許諾メニューを読み、“このライセンス契約書に同意します(A)”を選ぶ。
⑤ “次へ(N)”をクリックする。



⑥ インストール開始ダイアログの“Install”をクリックする。
- インストールをはじめます。インストールが終了するまでパソコンの操作をしないでください。

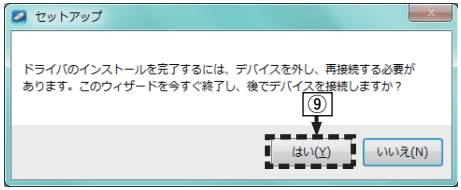


⑦ “次へ(N)”をクリックする。



⑧ インストール終了画面を表示したら“完了(F)”をクリックする。

⑨ “はい(Y)”をクリックする。



5 本機の電源をオフにしたまま、本機とパソコンを USB ケーブル(別売り)で接続する。

- 接続のしかたは「パソコンと接続する」をご覧ください。(☞22 ページ)

6 本体の ⏻ を押す。

- 本機の電源がオンになると、パソコンは自動的に本機を検出して接続をおこないます。

7 USB-DAC を押して、入力ソースを “USB-DAC” にする。

8 インストールしたドライバーを確認する。

① パソコン画面の“スタート”をクリックして、“コントロールパネル”をクリックする。
- コントロールパネルの設定一覧を表示します。

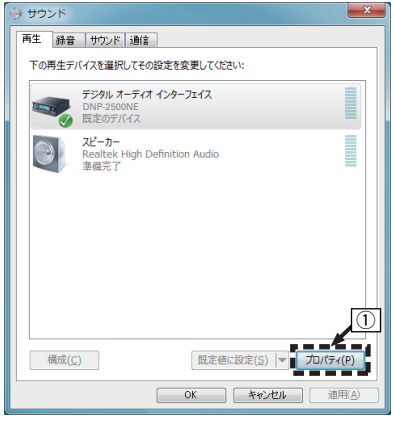
② “サウンド”をクリックする。
- サウンドメニュー画面を表示します。

③ “再生”タブの“DNP-2500NE”に“既定のデバイス”のチェックマークがあることを確認する。
- 他のデバイスにチェックマークがあるときは、“DNP-2500NE”を選択してから“既定値に設定”をクリックしてください。

9 音声出力を確認する。

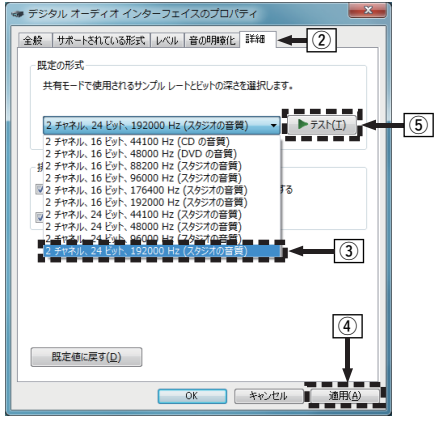
パソコンからテスト信号を出力して USB-DAC 機能の音声出力を確認します。

① サウンドメニュー画面の“DNP-2500NE”を選び、“プロパティ”をクリックする。
- DNP-2500NE のプロパティ画面を表示します。



② “詳細”タブをクリックする。
③ D/A 変換をおこなうサンプリング周波数とビット数を選ぶ。
- “2 チャンネル、24 ビット、192000 Hz(スタジオの音質)” に設定することをおすすめします(Windows 7)。
- “2 チャンネル、32 ビット、192000 Hz(スタジオの音質)” に設定することをおすすめします(Windows 8/Windows 8.1/Windows 10)。

④ “適用(A)”をクリックする。
⑤ “テスト(T)”をクリックする。
- 本機からパソコンの音声が出力されることを確認します。



ご注意

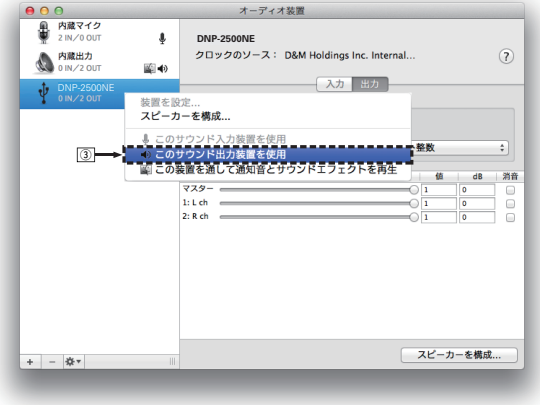
- 専用ドライバーはパソコンと本機を USB 接続する前にインストールしてください。ドライバーのインストール前に本機とパソコンを接続すると正しく動作しません。
- サンプリング周波数 352.8kHz/384kHz のファイルをダウンサンプリングせずに再生する場合は、ASIO（Audio Stream Input Output）ドライバーに対応したプレーヤーソフトが必要です。ASIO ドライバーでの再生は、ご使用のプレーヤーソフトをご確認ください。
- パソコンのハードウェアおよびソフトウェアの構成によっては、動作しない場合があります。
- 本機を使用してパソコンからの音楽が正しく再生できない場合、http://denon.jp/jp/html/faq.html の FAQ をご参照ください。また、使用するプレーヤーソフトのサポートページもご確認ください。

■ オーディオ装置の確認(Mac OS X のみ)

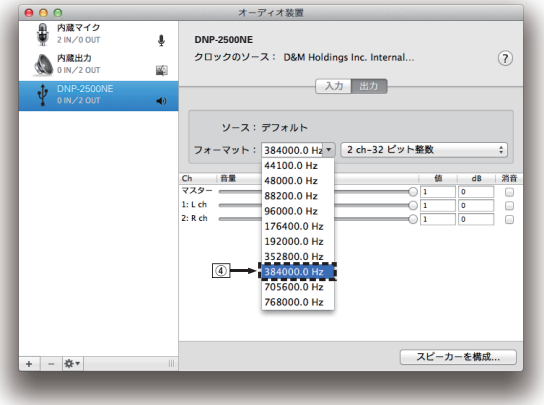
① パソコン画面の“移動”にカーソルを合わせ、“ユーティリティ”をクリックする。
- ユーティリティの一覧を表示します。

② “Audio MIDI 設定”をダブルクリックする。
- “オーディオ装置”画面を表示します。

③ “DNP-2500NE”に、このサウンド出力装置を使用のチェックマークがあることを確認する。
- 他のデバイスにチェックマークがあるときは、“DNP-2500NE”を選択してから副ボタンクリックして、“このサウンド出力装置を使用”を選択してください。



④ “DNP-2500NE”のフォーマットを選択する。
- “384000.0Hz”、“2ch-32 ビット整数”に設定することをおすすめします。



⑤ AudioMIDI 設定を終了する。

■ 再生

あらかじめご使用のパソコンにお好みのプレーヤーソフトをインストールしてください。
本機のリアパネルの USB-DAC 端子(タイプ B)にパソコンを接続してください。(☞22 ページ)

1 USB-DAC を押して、入力ソースを“USB-DAC”に切り替える。

パソコンのプレーヤーソフトで再生をはじめます。

- サンプリング周波数を検出できない場合は、“入力無し”を表示します。
- 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“非対応です”を表示します。

■ 再生できるファイルについて

「D/A コンバーターについて」(☞105 ページ)をご覧ください。

ご注意

- 再生、停止などはパソコンで操作してください。本体のボタンおよびリモコンでは操作できません。
- 本機が D/A コンバーターとして機能しているときは、パソコン本体のスピーカーから音声は出力されません。
- パソコンの再生ソフトを起動中に、本機とパソコンの接続を外すと、再生ソフトがフリーズすることがあります。必ず再生ソフトを終了してから接続を外してください。
- パソコン側で異常が発生したときは、USB ケーブルを抜いてパソコンを再起動してください。
- 再生ソフトのサンプリング周波数と本機のサンプリング周波数表示が異なることがあります。
- パソコンとの接続には、3m 以下のケーブルをご使用ください。

デジタル機器と接続して再生する (COAXIAL/OPTICAL 1/OPTICAL 2)

1 COAXIAL または OPTICAL を押して、入力ソースを “COAXIAL”、“OPTICAL 1” または “OPTICAL 2” に切り替える。

- サンプリング周波数を検出できない場合は、“入力無し” を表示します。
- 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“非対応です” を表示します。

■ 再生できるファイルについて

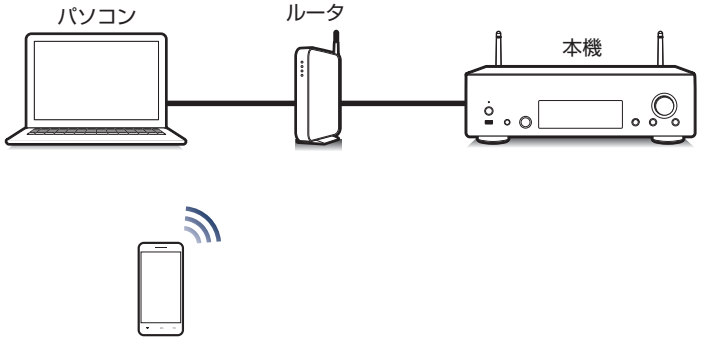
「D/A コンバーターについて」(☞105 ページ)をご覧ください。

ご注意

- ドルビーデジタル、DTS、AAC などのリニア PCM 以外の信号は入力しないでください。雑音が発生し、スピーカーが破損する恐れがあります。
- CS 放送の A モードから B モードなど、サンプリング周波数が切り替わったときには、1〜2 秒程度消音になり、音が途切れることがあります。

AirPlay 機能

iPhone、iPod touch、iPad や iTunes に保存されている音楽ファイルを、ネットワークを経由して本機で再生できます。



- ◁ を押すか他の入力ソースに切り替えると、AirPlay の再生が停止します。
- INFO を押すと、曲名とアーティスト名を確認ができます。
- iTunes の使用方法は、iTunes の“ヘルプ”をご覧ください。
- 画面は、OS やソフトのバージョンによって異なる場合があります。

iPhone、iPod touch、iPad の曲を本機で再生する

iPhone、iPod touch、iPad を iOS 4.2.1 以上にアップデートすると、iPhone、iPod touch、iPad の曲を本機へダイレクトにストリーミングできます。

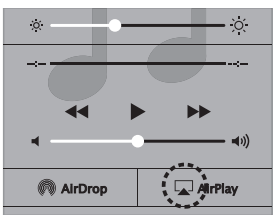
1 iPhone、iPod touch または iPad の Wi-Fi 設定を本機と同じネットワークに接続する。

- 詳しくは、ご使用の機器の取扱説明書をご覧ください。

2 iPhone、iPod touch、iPad の曲を再生する。

iPhone、iPod touch または iPad の画面に ⍓ を表示します。

3 AirPlay アイコン ⍓ をタップする。



4 本機を選ぶ。

iTunesの曲を本機で再生する

1 本機と同じネットワークに接続しているパソコンに、iTunes10 以降をインストールする。

2 本機の電源を入れる。

本機の“ネットワーク制御”設定を“オン”にしてください。(☞79 ページ)

ご注意

- “ネットワーク制御”を“オン”に設定している場合は、スタンバイ時の待機電力を多く消費します。

3 iTunes を起動し、AirPlay アイコン をクリックして、本機を選ぶ。

4 iTunes で曲を選び、再生する。

本機で再生をはじめます。

複数のスピーカー(機器)を選ぶ

ご家庭にある本機以外の AirPlay 対応のスピーカー(機器)で iTunes の曲を再生できます。

1 AirPlay アイコン をクリックして、“複数の”を選ぶ。

2 再生したいスピーカー(機器)をクリックする。

Remote play機能

ご家庭のネットワークを使用してパソコンや NAS に保存している音楽ファイル、スマートフォンやポータブルオーディオプレーヤーに保存している音楽ファイルを本機で再生できます。

このとき、操作はパソコン、スマートフォンまたはポータブルオーディオプレーヤーで操作します。

- それぞれの機器が DLNA(Digital Living Network Alliance)の Ver. 1.5 規格に準拠している必要があります。
- スマートフォンやポータブルオーディオの再生にはワイヤレス LAN の環境が必要です。
- スマートフォンによっては、DLNA の音楽再生のためのアプリをインストールする必要がある場合があります。

■ それぞれの機器の役割

Remote play には次の機器を使用します。DLNA 規格上、それぞれの役割によって DMC、DMS、DMR と呼びます。

呼称	機器例	役割
DMC (Digital Media Controller)	• パソコン • スマートフォン • ポータブルオーディオプレーヤー • Denon Hi-Fi Remote App	Remote play の操作をします。 これらの機器に保存している音楽ファイルを再生することもできます。
DMS (Digital Media Server)	• パソコン • NAS (Network Attached Storage)	音楽ファイルを保存します。 DMC でこれらの機器に保存している音楽ファイルを再生操作します。
DMR (Digital Media Renderer)	• 本機	Remote play で再生した音楽ファイルをスピーカーから出力します。再生操作はできません。

■ 再生できるファイルについて

「パソコンや NAS に保存されているファイルを再生する」(☞106 ページ)をご覧ください。

それぞれの機器に必要な設定

Remote play 再生をおこなうためには、DMC と DMS の設定が必要です。次の設定をおこなってください。なお、設定については各機器の取扱説明書をご覧ください。

■ パソコンや NAS の設定

パソコンや NAS が DMS 機器や DMR 機器とデータのやり取りができるように設定をします。

設定のしかたは、「メディアの共有設定をおこなう」(☞37 ページ)をご覧ください。

■ スマートフォンの設定

スマートフォンから DMS や本機(DMR)を操作するために、スマートフォンに DLNA の音楽再生のためのアプリをインストールする必要があります。これらの適応アプリはスマートフォンによって異なります。

- 一部のスマートフォンではお買い上げ時から DLNA 音楽再生に対応している機種もあります。スマートフォンの取扱説明書でご確認ください。

■ ポータブルオーディオプレーヤーの設定

ポータブルオーディオプレーヤーの音楽ファイルを本機(DMR)で再生するための設定をおこないます。設定のしかたは、各ポータブルオーディオプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

■ 本機の設定

DLNA ネットワークに接続します。それ以外の設定の必要はありません。

ネットワークの接続については、別冊の「かんたん設定ガイド」または「ホームネットワーク(LAN)に接続する」(☞25 ページ)、「接続の設定」(☞80 ページ) をご覧ください。

■ Remote play の操作

操作のしかたは、それぞれの機器によって異なりますが、Remote play のための準備の手順は同じです。ここでは準備する手順を説明します。

1 本機の電源をオンにする。

- 本機がネットワークに接続できることを確認してください。

2 DMC の音楽ファイル再生画面を表示する。

- パソコンをご使用の場合は、Windows Media Player 12 などを開いてください。
- スマートフォンをご使用の場合は、音楽ファイルの再生モードに切り替えてください。

3 再生画面の再生機器を設定する項目で、本機のフレンドリ名を選ぶ。

- 本機のお買い上げ時のフレンドリ名は、“Denon DNP-2500NE”です。

4 DMC で音楽ファイルの再生をはじめる。

- 本機の入力ソースが自動的に“Music Server”に切り替わり、ディスプレイに を表示して Remote play をはじめます。

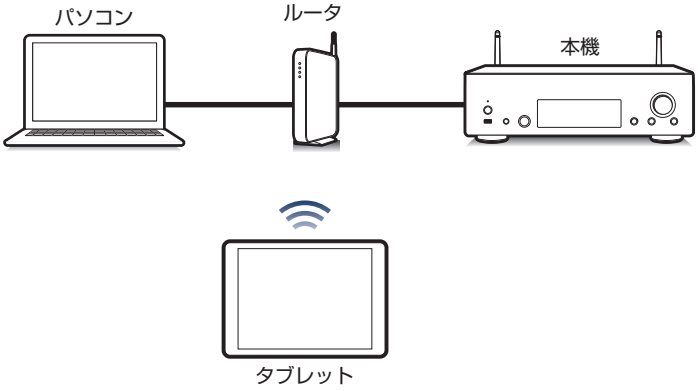
- Remote play 機能を解除するときは ◁ を押してください。

ご注意

- Remote play 中に本機での再生操作はできません。DMC 機器で操作してください。

ウェブコントロール機能

ブラウザに表示されるウェブコントロール画面を使用して、本機を操作できます。



- ウェブコントロール機能をご使用になるには、本機とパソコンがネットワークに正しく接続されている必要があります。「ホームネットワーク(LAN)に接続する」(☞25 ページ)
- セキュリティソフトなどの設定により、パソコンから本機にアクセスできないことがあります。そのような場合には、セキュリティソフトの設定を変更してください。

ウェブコントロール機能で本機をコントロールする

1 設定メニューの“ネットワーク制御”の設定を“オン”にする。(☞79 ページ)

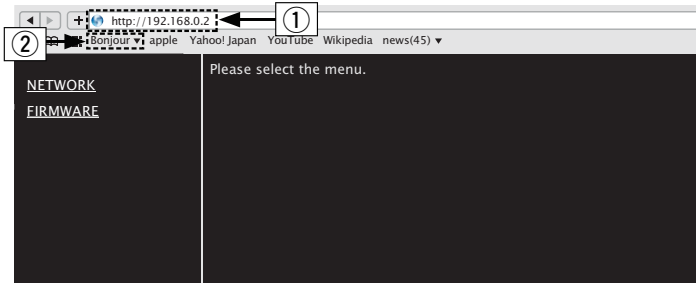
2 設定メニューの“ネットワーク情報”で、本機の IP アドレスを確認する。(☞79 ページ)

IP アドレスを確認する

3 ブラウザを起動する。

4 ブラウザのアドレスボックスに、本機の IP アドレスを入力する。

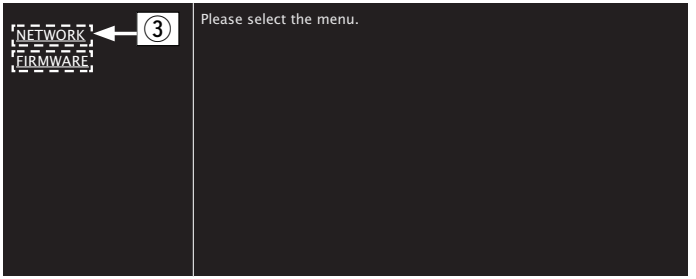
例えば、本機の IP アドレスが“192.168.0.2”の場合は、“http://192.168.0.2”と入力してください。



① IP アドレスを入力します。
② Safari ブラウザをご使用になる場合は、“Bonjour”を選択するとウェブコントロール画面に直接アクセスできます。

- ブラウザのブックマーク機能で本機の IP アドレスを登録しておくと、次回からブックマーク機能を使用してウェブコントロール画面を表示できます。ただし、DHCP サーバーをご使用の場合は、“ネットワーク制御”の設定が“オフ”のときに電源をオン/オフすると、IP アドレスが変更になりますのでご注意ください。(☞79 ページ)

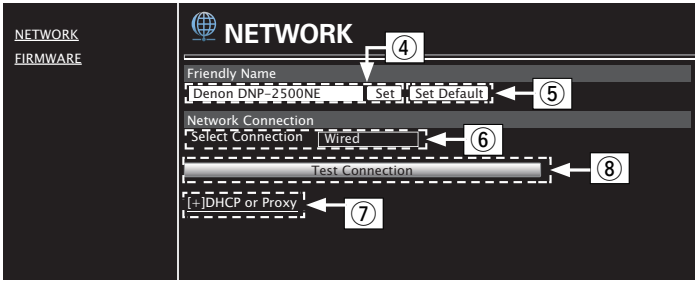
5 トップメニューが表示されたら、操作したいメニューをクリックする。



③ ネットワークの設定時にクリックします。(☞【例 1】)

6 操作する。

【例 1】ネットワーク設定 1



❑ フレンドリ名(Friendly Name)の設定

④ フレンドリ名を変更するときは、テキストボックスに新しいフレンドリ名を入力し、“Set”をクリックします。

⑤ フレンドリ名をリセットするときは、“Set Default”をクリックします。

- 本機に表示できる文字のみ設定できます。(☞75 ページ)

❑ ネットワーク接続設定

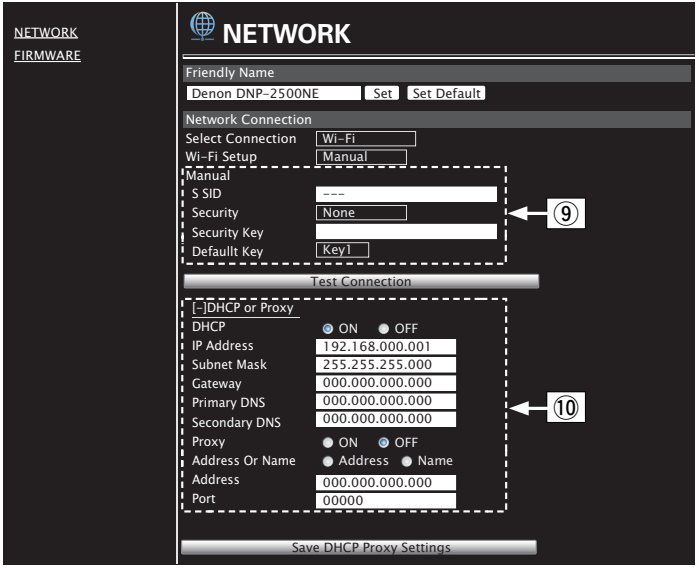
⑥ 接続方法を選択するときにクリックします。“Wi-Fi”を選択すると新たな項目を画面に表示します。(☞【例 2】)

⑦ DHCP やプロキシを設定するときにクリックします。(☞【例 2】)

⑧ 設定を反映し接続を開始するときにクリックします。

7 操作する。

【例 2】ネットワーク設定 2



❑ ネットワーク接続設定

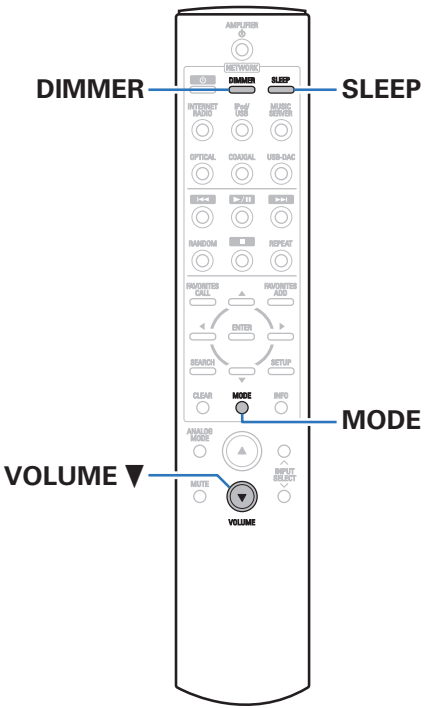
⑨【例 2】−⑥で“Wi-Fi”を選択したときに表示します。各項目を選択または入力したあと、“Test Connection”をクリックして設定を反映してください。

- 選択項目や接続状態により表示される項目が変わります。
- 各項目を選択したあとは、表示が更新されるまでしばらくお待ちください。

⑩【例 2】−⑦で“DHCP”または“Proxy”を選択したときに表示します。DHCP やプロキシの設定を変更するときは、各項目を入力または選択してください。

- ネットワーク接続の設定を反映させるためには、最後に“Test Connection”をクリックしてください。

便利な機能



スリープタイマーを設定する 70
ディスプレイの明るさを切り替える 70
リモコンでヘッドホンの音量を調節する 70

スリープタイマーを設定する

設定した時間が経過すると、自動的に電源をスタンバイにすることができます。視聴しながらおやすみになるときに便利です。

1 再生中に SLEEP を押して、設定時間を選ぶ。

- ディスプレイの 表示が点灯します。
- 10 分～90 分の範囲で、10 分間隔で設定できます。

■ スリープタイマーを解除する

SLEEP を押して“Sleep ► オフ”を選ぶ。

ディスプレイの 表示が消灯します。

- 本機の電源がスタンバイになると、スリープタイマーの設定を解除します。
- スリープタイマーが動作するまでの残り時間を確認するときは、SLEEP を押してください。

ディスプレイの明るさを切り替える

1 DIMMER を押す。

- ボタンを押すたびに、ディスプレイの明るさが切り替わります（4 段階）。

- ディスプレイが消灯しているときにボタン操作をおこなうと、輝度を落として一時的に情報を表示します。

リモコンでヘッドホンの音量を調節する

離れた場所からでもリモコン操作でヘッドホンの音量を調節することができます。

1 リモコンの MODE と VOLUME ▼ を同時に押す。

- リモコンがヘッドホン音量操作モードになります。

- リモコンを本体に向ける必要はありません。

2 リモコンを本体に向けて VOLUME ▼ を押し、音量表示することを確認する。

- 音量表示しない場合、手順 1 からやり直してください。

- ヘッドホン音量操作モードでは、ミュート操作もできます。
- ヘッドホン音量操作モードの場合、デノン製プリメインアンプ（別売り）の音量調節ができなくなります。デノン製プリメインアンプの音量調節をしたい場合はもう一度手順 1 をおこない、リモコンを本機に向けて VOLUME ▼ を押しても本機のディスプレイ表示が変わらないことを確認してください。

設定のしかた

メニュー一覧

メニューの操作をおこなうときは、参照ページをご覧ください。
本機はお買い上げ時の設定をおすすめの設定にしてあります。ご使用のシステムやお好みに合わせて本機をカスタマイズすることができます。

■ かんたん設定

設定項目	内 容	参照ページ
かんたん設定	ネットワークの各種設定をウィザード形式で表示します。 操作のしかたは、別冊の「かんたん設定ガイド」をご覧ください。	–

■ 一般

設定項目		内 容	参照ページ
言語		ディスプレイに表示する言語を選択します。	76
オートスタンバイ		未使用時に自動的にスタンバイにします。	76
使用状況の送信設定		お客様の使用状況の情報を当社へ送信するかしないかの設定をします。	76
ファームウェア		ファームウェアの最新アップデート情報の確認や更新の実施、およびアップデートとアップグレードの通知メッセージを表示するかしないかの設定をします。	76
	アップデート	本機のファームウェアをアップデートします。	76
	お知らせ機能	アップデート、アップグレードの通知メッセージやその他のお知らせを表示するかしないかの設定をします 。	77
	新機能の追加	本機にダウンロード可能な新機能を表示し、アップグレードします。	77
リセット		お買い上げ時の設定に戻します。	78

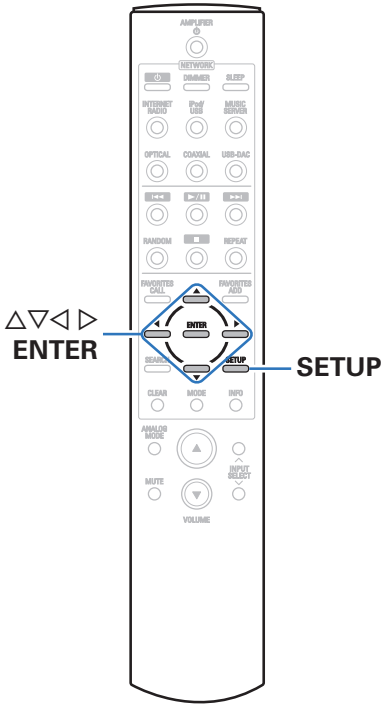
■ ネットワーク

設定項目	内 容	参照ページ
ネットワーク情報	ネットワークの情報を表示します。	79
ネットワーク制御	電源がスタンバイ状態でのネットワーク機能の設定をします。	79
フレンドリ名	フレンドリ名は、ネットワーク上に表示される本機の名称で、お好みによって変更できます。	80
Wi-Fi	Wi-Fi 機能の有効/無効を設定します。	80
接続の設定	有線または無線 LAN の設定をします。	80
有線 LAN を設定	有線 LAN の設定をします。	80
DHCP(オン)または DHCP(オフ)	DHCP の設定をします。	80
IP アドレス *	IP アドレスの設定をします。	81
サブネットマスク *	サブネットマスクを入力します。	81
ゲートウェイ *	ゲートウェイの設定をします。	81
プライマリー DNS *	プライマリー DNS を入力します。	81
セカンダリー DNS *	セカンダリー DNS を入力します。	81
プロキシ	プロキシの設定をします。	81
接続を開始	有線 LAN へ接続します。	–
Wi-Fi の設定方法	無線 LAN の設定をします。	82
自動検索	Wi-Fi 接続をアクセスポイント一覧から選択し、設定します。	82
iOS 機器の Wi-Fi 設定を共有	iOS 製品を使って無線接続をおこないます。(iOS version 7 以降)	83
WPS (Wi-Fi Protected Setup)	Wi-Fi 接続を WPS 方式で設定します。	83
WEB ブラウザ設定	Wi-Fi 接続をウェブブラウザを使用して設定します。	83
手動設定	Wi-Fi 接続を手動で設定します。	86

＊ “DHCP”の設定が“オフ”のときに表示します。(☞80 ページ)

■ ヘッドホン

設定項目	内 容	参照ページ
ゲイン切替	ヘッドホンアンプのゲインを設定します。	87
ダンピングファクター	ダンピングファクターを設定します。	87
ジョグの割り当て	本体のジョグダイヤルでヘッドホン音量を調節できるように設定します。(入力ソースを USB-DAC/COAXIAL/OPTICAL1/OPTICAL2 に設定している場合のみ有効)	88
トーン	音質を調節します。	88



メニューの操作のしかた

1 **SETUP を押す。**
メニューを表示します。

2 **△▽◁▷ を押して設定または操作したいメニューを選び、ENTER を押す。**

3 **△▽ を押して、お好みの設定に変更する。**

4 **ENTER を押して、設定を確定する。**

- 前の項目に戻るときは、◁ を押してください。
- メニューを終了するときは、メニュー表示中に SETUP を押してください。
メニュー表示が消灯します。

文字入力について

本機は、次の画面に表示する名前をお好みに合わせて変更できます。
- 文字検索(☞33、38、47 ページ)
- フレンドリ名 (☞80 ページ)
- ネットワーク機能に関する文字入力(☞33 ページ)

カーソルボタンで入力する

1 **文字の入力をおこなう画面を表示する。**
- 文字を変更する場合は、◁▷ を押して変更したい文字にカーソルを合わせてください。

2 **△▽ を押して、文字を切り替える。**
- 入力できる文字の種類は、次のとおりです。

【英小文字】
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
【英大文字】
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
【記号】 ! “ # $ % & ‘ ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [\ ] ^ _ ` { ¦ } ~
【数字】 0123456789 (空白)

3 **手順 2 をくり返して名前を変更し、ENTER を押して確定する。**

- 文字を削除するときは、CLEAR を押してください。
- スペースを入れるときは、►►I を押してください。
- 大文字と小文字を切り替えるときは、MODE を押してください。

一般

その他の設定をします。

言語

ディスプレイに表示する言語を選択します。

日本語 / English（お買い上げ時の設定：日本語）

オートスタンバイ

“オートスタンバイ”を“オン”に設定し、停止状態で設定した時間内に操作しない状態が続くと、本機は自動的にスタンバイ状態になります。

入力ソースが“From iPod”の場合は、本機を約 8 時間操作しない状態が続くと本機は自動的にスタンバイ状態になります。

1 分 / 5 分 / 15 分 / その他:	“その他”を選択した場合、1～99 分の間で“オートスタンバイ”の時間を設定できます。△▽ で値を選択し、その後 ENTER を押して設定を確定します。
オフ（お買い上げ時の設定）:	自動的にスタンバイ状態になりません。

使用状況の送信設定

当社は今後の製品の改善のために、本機の設定状況や機能の使用状況に関する情報の送信をお願いしております。お客様から送信される情報は今後の製品開発の参考にさせていただきます。

送信される情報は個人を特定する情報は含まれません。この情報は、当社の製品改善目的のためにのみ利用させていただき、第三者へ提供することは決して致しません。

はい:	本機の使用状況を情報提供します。
いいえ:	本機の使用状況を情報提供しません。

ファームウェア

ファームウェアの最新アップデート情報の確認や更新の実施、およびアップデート、アップグレードやお知らせの通知メッセージを表示するかしないかの設定をします。

■ アップデート

本機のファームウェアをアップデートします。

アップデートの確認:	ファームウェアが最新かどうかの確認ができます。
アップデート開始:	アップデートを実行します。

- アップデートに失敗しても、本機は自動的にアップデートを再試行します。

■ お知らせ機能

最新のファームウェアが利用可能であるときや、その他のお知らせがある場合に、パワーオン時に画面に表示します。

アップデート

オン （お買い上げ時の設定）:	アップデートの通知を表示します。
オフ:	アップデートの通知を表示しません。

アップグレード

オン （お買い上げ時の設定）:	アップグレードの通知を表示します。
オフ:	アップグレードの通知を表示しません。

その他のお知らせ

オン （お買い上げ時の設定）:	当社からのお知らせを表示します。
オフ:	当社からのお知らせを表示しません。

■ 新機能の追加

本機にダウンロード可能な新機能を表示し、アップグレードします。

アップグレード状態:	アップグレードによって追加された機能の一覧を表示します。
アップグレードパッケージ:	アップグレードする項目を表示します。
アップグレード開始:	アップグレードを実行します。アップグレードを開始すると、メニュー画面をシャットダウンします。アップグレード中は、ディスプレイに経過時間を表示します。
アップグレード ID:	お手続きの際に必要になる ID 番号を表示します。

- アップグレードをご利用になる場合の詳細については、当社ホームページをご覧ください。
- お手続きが完了すると、このメニューに“登録済”と表示され、アップグレードすることができます。お手続きされていない場合は、“未登録”を表示します。

“アップデート”および“新機能の追加”をおこなったときのご注意

- これらの機能を使用するためには、インターネットブロードバンドに接続できる環境と設定が必要です。(☞25 ページ)
- 新機能の追加の操作は本機の電源をオンにして 2 分以上経過してからおこなってください。
- アップデートやアップグレードが終わるまで、絶対に電源を切らないでください。
- アップデートやアップグレードが完了するまでに、ブロードバンド接続でも 20 分程度の時間がかかります。
- 一旦アップデートやアップグレードを開始すると、本機は完了するまで通常の操作ができなくなります。本機に設定したパラメーターなどのバックアップデータを初期化する場合があります。
- アップグレードが失敗した場合には、“Update failed”や“Download failed”などをディスプレイに表示します。電源コードを挿し直してください。ディスプレイに“再アップデート中”を表示し、失敗したところから更新を再開します。それでも失敗が続く場合は、ネットワークの環境を確認してください。

- “アップデート”および“新機能の追加”に関する情報は、当社ホームページなどで告知する予定です。

リセット

表示が正しくない場合や操作ができない場合などにおこないます。各種設定内容がお買い上げ時の設定になります。再度設定をおこなってください。

お買い上げ時の設定に戻す:	初期化します。
中止する:	初期化しません。

ご注意

- 全ての設定をお買い上げ時の設定に戻すのに 90 秒程度かかります。電源を切る場合は、“Initialized”が表示されてから約 90 秒後に電源プラグを抜いて下さい。

ネットワーク

本機をホームネットワーク(LAN)に接続して使用できるようにするためには、ネットワークの設定をおこなう必要があります。DHCPでホームネットワークを構築している場合は、“DHCP”をオンに設定します(お買い上げ時の設定のまま使用してください)。これにより、ホームネットワークを使用できるようになります。
各機器にIPアドレスを割り当てている場合は、“IPアドレス”の設定で本機にIPアドレスを割り当て、ゲートウェイアドレスやサブネットマスクなど、ご使用のホームネットワークに関する情報を入力する必要があります。

ネットワーク情報

ネットワークの情報を表示します。

フレンドリ名 / DHCP オンまたは**オフ / IP アドレス / MAC アドレス / SSID***

* Wi-Fi 接続しているときのみ表示します。

ネットワーク制御

電源がスタンバイ状態でのネットワーク機能の設定をします。

オン (お買い上げ時の設定):	スタンバイ時にネットワーク機能を使用できます。ネットワーク対応のコントローラーを使用して本機を操作できます。
オフ:	スタンバイ時はネットワーク機能を使用できません。

ウェブコントロール機能や、ネットワーク対応のコントローラーをご使用になる場合は、“ネットワーク制御”の設定を“オン”にしてください。

ご注意

- “ネットワーク制御”を“オン”に設定している場合は、スタンバイ時の待機電力を多く消費します。

フレンドリ名

フレンドリ名とは、ネットワーク上に表示される本機の名称です。フレンドリ名はお好みで変更できます。

■ フレンドリ名

ENTER を押すと、お好みのフレンドリ名に変更できます。

- 最大 63 文字まで編集できます。
- 文字の入力方法は、「文字入力について」(☞75 ページ)をご覧ください。
- お買い上げ時のフレンドリ名は、“Denon DNP-2500NE”です。

■ 初期状態

編集したフレンドリ名をお買い上げ時の設定に戻します。

Wi-Fi

本機を有線 LAN を使用してネットワークに接続する場合に、Wi-Fi 機能を停止できます。

オン (お買い上げ時の設定):	Wi-Fi 機能を使用します。
オフ:	Wi-Fi 機能を停止します。

接続の設定

ネットワークの詳細設定をおこないます。

ネットワーク環境を変更する場合は、“かんたん設定”をおこなってください。(操作方法については、別冊の「かんたん設定ガイド」をご覧ください。)

- ブロードバンドルータ(DHCP 機能)をご使用の場合は、本機のお買い上げ時の設定で DHCP 機能が“オン”になっていますので、“IP アドレス”と“プロキシ”の設定は必要ありません。
- “接続の設定”は、DHCP 機能のないネットワークに接続する場合のみ設定してください。

■ 有線 LAN を設定

❑ DHCP

ネットワークへの接続方法を選択します。

オン (お買い上げ時の設定):	ご使用のルータから自動的にネットワーク設定をおこないます。
オフ:	手動でネットワークの設定をします。

❑ IP アドレス

入力する IP アドレスは下記の範囲で設定してください。

- 下記以外の IP アドレスではネットワークオーディオ機能を使用することはできません。
  CLASS A: 10.0.0.1～10.255.255.254
  CLASS B: 172.16.0.1～172.31.255.254
  CLASS C: 192.168.0.1～192.168.255.254

❑ サブネットマスク

xDSL モデムやターミナルアダプターを直接本機に接続している場合は、プロバイダから書面などで通知されたサブネットマスクを入力します。通常は 255.255.255.0 を入力します。

❑ ゲートウェイ

ゲートウェイ(ルータ)に接続している場合は、その IP アドレスを入力します。

❑ プライマリー DNS、セカンダリー DNS

プロバイダから書面などで通知された DNS アドレスが 1 つの場合は、“プライマリー DNS”に入力してください。2 つ以上の場合は、1 つを“セカンダリー DNS”に入力してください。

❑ プロキシ

インターネットにプロキシサーバーを経由して接続する場合に設定します。
プロキシの設定は、契約しているプロバイダや社内のネットワークなどプロキシサーバーを経由してインターネットに接続している場合のみおこなってください。

プロキシ(オフ)または**プロキシ(オン)**:	プロキシサーバーを設定します。
プロキシ(アドレス)または**プロキシ(ネーム)**:	アドレスかドメイン名で入力するときに選択します。
アドレスまたは**ネーム**:	アドレスかドメイン名を入力します。最大 38 文字まで入力できます。
ポート:	ポート番号を入力します。

- インターネットに接続できない場合は、再度接続や設定を確認してください。(☞25 ページ)
- インターネットの接続についてわからない場合は、ISP(インターネット・サービスプロバイダ)またはパソコン関連販売店にお問い合わせください。

■ Wi-Fi の設定方法

ここでは、次の 5 つの接続方法で Wi-Fi の設定ができます。

自動検索 /iOS 機器の Wi-Fi 設定を共有 / WPS (Wi-Fi Protected Setup) / WEB ブラウザ設定 / 手動設定

- LAN ケーブルを接続している場合は、LAN ケーブルを外してください。
- リアパネルの Wi-Fi CONNECT ボタンを使用した接続方法については、別冊の「かんたん設定ガイド」をご覧ください。

❑ 自動検索

ネットワークを自動検索します。

1 **リストから、接続したいネットワークを選ぶ。**

- 見つからない場合は“再検索する”を選択してください。

2 **下記の設定をおこなう。**

WEP 固定値 Key:	デフォルトキーを選択します。 • “WEP 固定値 Key”は、WEP で暗号化されているネットワークに接続する場合に表示します。
パスワード:	パスワードを入力します。
DHCP/プロキシ:	DHCP やプロキシの設定をします。 (☞80、81 ページ)
接続を開始:	接続のテストをおこないます。

❑ iOS 機器の Wi-Fi 設定を共有

iPhone や iPad 等の iOS 機器を使い Wi-Fi 設定をおこなうことができます。
この項目を選択後、iOS 機器のホーム画面から設定/Wi-Fi を選択し、画面下に表示される“Denon DNP-2500NE”を選択したあと、iOS 機器の表示に従って設定をおこなってください。
詳しくは「かんたん設定ガイド」を参照ください。

- iOS の version が 7 以降である必要があります。

❑ WPS (Wi-Fi Protected Setup)

1 本機の PIN コードをルータに登録する。

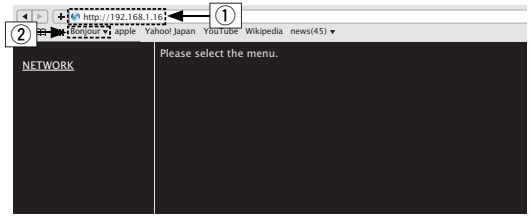
❑ WEB ブラウザ設定

ウェブブラウザを使用して Wi-Fi 設定をおこないます。
ウェブの閲覧が可能な Wi-Fi 機器が必要です。

1 画面に表示される注意文を確認し、ENTER を押す。

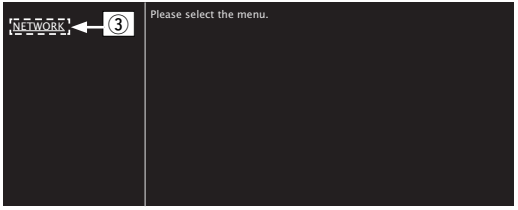
2 Wi-Fi 機器の Wi-Fi ネットワーク一覧から、“Denon DNP-2500NE”を選ぶ。
本機に IP アドレス(192.168.1.16)を表示します。

3 ブラウザのアドレスボックスに、本機の IP アドレスを入力する。



① IP アドレス(192.168.1.16)を入力します。
② Safari ブラウザをご使用になる場合は、“Bonjour”を選択するとウェブコントロール画面に直接アクセスできます。

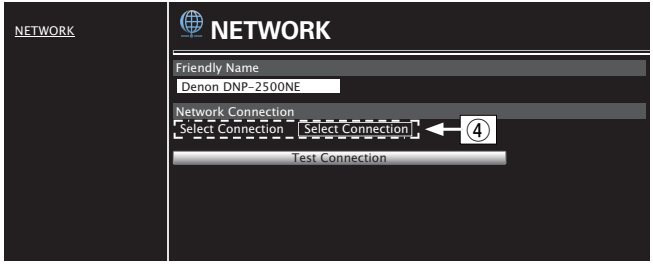
4 トップメニューが表示されたら、“NETWORK”をクリックする。



③ “NETWORK”をクリックします。(☞**【例 1】**)

5 操作する。

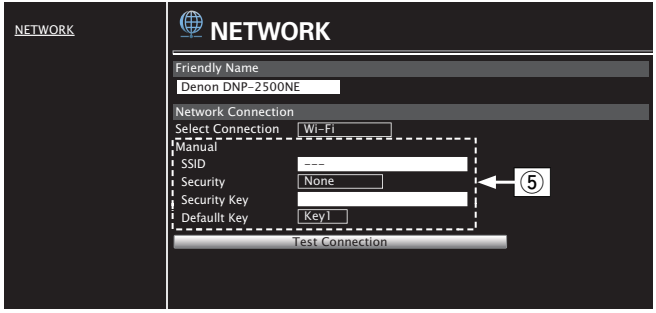
【例 1】ネットワーク設定 1



❑ ネットワーク接続設定

④ 接続方法を選択するときにクリックします。“Wi-Fi” を選択すると新たな項目を画面に表示します。（☞【例 2】）

【例 2】ネットワーク設定 2



❑ ネットワーク接続設定

⑤【例 2】−④ で “Wi-Fi” を選択したときに表示します。各項目を選択または入力したあと、“Test Connection” をクリックして設定を反映してください。

- 選択項目や接続状態により表示される項目が変わります。
- 各項目を選択したあとは、表示が更新されるまでしばらくお待ちください。

- ネットワーク接続の設定を反映させるためには、最後に “Test Connection” をクリックしてください。

❑ 手動設定

ネットワークを手動で接続します。

SSID：	無線ネットワーク名(SSID)を入力します。
セキュリティ:	ご使用のアクセスポイントの暗号化設定に合わせて、暗号化方式を選択します。
WEP 固定値 Key:	WEP 固定値 Key を選択します。 • “WEP 固定値 Key”は、“WEP”で暗号化されているネットワークに接続する場合に表示します。
パスワード:	パスワードを入力します。
DHCP/プロキシ:	DHCP やプロキシの設定をします。 (☞80、81 ページ)
接続を開始:	接続のテストをおこないます。

ヘッドホン

ゲイン切替

ヘッドホンアンプのゲインを設定します。接続するヘッドホンのインピーダンスに合わせて設定してください。ヘッドホンのインピーダンスが低く、音量が大きい場合は“Low”に、ヘッドホンのインピーダンスが高く、音量が小さい場合は“High”に設定することをおすすめします。

High/Mid/Low（お買い上げ時の設定：Mid）

- ゲイン設定に合わせて、ヘッドホンの音量が変動します。音声を聴きながら設定を変更する場合は、音量を下げてからおこなってください。

ダンピングファクター

ヘッドホンアンプの出力インピーダンスを切り替え、ダンピングファクター（ヘッドホンに対する制動力）を設定することができます。設定を切り替えることで、お好みの音質に調節いただけます。
“High”側に設定すると緊張感のある硬質な音になります。
“Low”側に設定するとゆったりとしたやわらかな音になります。使用するヘッドホンによって音質の傾向が異なりますので、お好みに合わせて設定してください。

High:4/Upper Mid:3/Lower Mid:2/Low:1
（お買い上げ時の設定：Upper Mid:3）

ご注意

- 高能率のイヤホンをご使用の際、ダンピングファクターを“High:4”に設定していると、ホワイトノイズが聞こえる場合があります。その場合はダンピングファクターを“Upper Mid:3”以下に設定してご使用ください。
- ダンピングファクター設定に合わせてヘッドホンの音量が変動します。音声を聴きながら設定を変更する場合は、音量を下げてからおこなってください。

ジョグの割り当て

入力ソースを USB-DAC/COAXIAL/OPTICAL 1/OPTICAL 2 に設定している場合、本体のジョグダイヤルでヘッドホン音量を調節できるように設定します。

オン:	本体のジョグダイヤルにヘッドホン音量操作機能を割り当てます。
オフ (お買い上げ時の設定):	本体のジョグダイヤルにヘッドホン音量操作機能を割り当てません。

- “ジョグの割り当て”を“オン”にしても、設定メニュー操作時はジョグダイヤルでカーソル操作ができます。

トーン

■ ソースダイレクト

“低音”、“高音”の調節をおこないません。

オン / オフ(お買い上げ時の設定:オン)

■ 低音

低音を調節します。

–10dB〜+10dB(お買い上げ時の設定:0dB)

■ 高音

高音を調節します。

–10dB〜+10dB(お買い上げ時の設定:0dB)

困ったときは

■ 目次

上手な使いかた/こんなときの解決方法

電源オフ状態から簡単に操作する 90
iPod の充電をしたい 90
ネットワーク環境の切り替えや再設定をする 90
現在再生している iPod の曲情報(曲名など)を本体のディスプレイに表示させたい 90
ヘッドホンアンプ専用機として使いたい 90

故障かな？と思ったら

電源が入らない/電源が切れる 91
LED が点滅している 91
リモコンで操作ができない 92
本機のディスプレイが表示されない 92
音がまったく出ない 93
音が途切れたり、ノイズが入ったりする 93
iPod が再生できない 94
USB メモリーが再生できない 95
iPod や USB メモリー内のファイル名が正しく表示されない 95
インターネットラジオが再生できない 96
パソコン内や NAS 内の音楽ファイルを再生できない(ミュージックサーバー) 97
パソコン内の音楽ファイルを再生できない(USB-DAC) 98
デジタル機器の音声を再生できない(Coaxial/Optical) 98
Wi-Fi 接続ができない 99
リセットしても正常に動作しない 100

上手な使いかた/こんなときの解決方法

電源オフ状態から簡単に操作する

- “ネットワーク制御”の設定を“オン”にすると、AirPlay や Denon “Hi-Fi Remote” App（デノン・ハイファイ・リモート・アプリ）から起動と同時に再生操作ができます。(☞79 ページ)

iPod の充電をしたい

- 本機の電源を入れて、iPod を接続してください。その後電源が切れても満充電になるまで iPod の充電をおこないます。(☞45 ページ)

ネットワーク環境の切り替えや再設定をする

- 別冊の「かんたん設定ガイド」を用意し、設定メニューの“かんたん設定”をおこなってください。詳細な設定は、設定メニューの“ネットワーク” - “接続の設定”をおこなってください。(☞80 ページ)

現在再生している iPod の曲情報（曲名など）を本体のディスプレイに表示させたい

- MODE ボタンを押して、On-Display モードにしてください。(☞44 ページ)

ヘッドホンアンプ専用機として使いたい

- 入力ソースを USB-DAC/COAXIAL/OPTICAL 1/OPTICAL 2 に設定している場合、本体のジョグダイヤルにヘッドホン音量調節機能を割り当てられます。(☞88 ページ)
- 付属のリモコンでデノン製プリメインアンプ（別売り）の音量を調節するか、本機のヘッドホンアンプの音量を調節するかを設定できます。(☞70 ページ)

故障かな？と思ったら

1. 各接続は正しいですか
2. 取扱説明書に従って正しく操作していますか
3. 接続した機器は正しく動作していますか

本機が正しく動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。
なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、お買い上げの販売店でおわかりにならない場合は、当社のお客様ご相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

■ 電源が入らない/電源が切れる

症状	原因 / 対策	関連ページ
電源が入らない。	• コンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。	29
電源が自動的に切れる。	• スリープタイマーが設定されています。再度電源を入れてください。	70
	• オートスタンバイが設定されています。操作がない状態で一定時間が経過すると、“オートスタンバイ”が動作します。“オートスタンバイ”を無効にするには、設定メニューの“オートスタンバイ”を“オフ”に設定してください。	76

■ LED が点滅している

症状	原因 / 対策	関連ページ
赤色に点滅している。	• 本機の回路が故障しています。電源を切り、当社の修理相談窓口までご連絡ください。	−

■ リモコンで操作ができない

症状	原因 / 対策	関連ページ
リモコンで操作ができない。	• 乾電池が消耗しています。新しい乾電池と交換してください。	7
	• リモコンは、本機から約 7m および 30° 以内の範囲で操作してください。	7
	• 本機とリモコンの間の障害物を取り除いてください。	−
	• 乾電池の ⊕ と ⊖ を正しくセットしてください。	7
	• 本機のリモコン受光部に強い光（直射日光、インバーター式蛍光灯の光など）があたっています。受光部に強い光があたらない場所に設置してください。	−
	• 3D 映像機器をご使用の場合、各ユニット間（テレビや 3D 視聴用メガネなど）の無線通信の影響によって本機のリモコンが効かなくなることがあります。その場合は、3D 通信の各ユニットの向きと距離を調節して、本機のリモコンの動作に影響がないことを確認してください。	−
	• リモコンは、デノン製プリメインアンプ（別売り）の音量を調節するモードと本機のヘッドホン音量を調節するモードに切り替えられます。リモコンの VOLUME ▼ ボタンと Mode ボタンを同時に押して、操作したいモードに切り替えてください。	70

■ 本機のディスプレイが表示されない

症状	原因 / 対策	関連ページ
ディスプレイの表示が消える。	• リモコンの DIMMER ボタンを押して消灯以外の設定にしてください。	70

■ 音がまったく出ない

症状	原因 / 対策	関連ページ
スピーカーから音が出ない。	• すべての機器の接続を確認してください。	18
	• 接続ケーブルを奥まで挿してください。	–
	• 入力端子と出力端子を間違えて接続していないか確認してください。	–
	• ケーブルが破損していないか確認してください。	–
	• 適切な入力ソースが選択されていることを確認してください。	31
	• 本体のヘッドホン端子にヘッドホンのプラグを挿入していると、オーディオ出力端子およびデジタル音声出力端子から音が出なくなります。	11

■ 音が途切れたり、ノイズが入ったりする

症状	原因 / 対策	関連ページ
インターネットラジオやUSB メモリーを再生中に、音が途切れることがある。	• USB メモリーの転送速度が遅いと音が途切れることがあります。	–
	• ネットワークの通信速度が遅いか、ラジオ局が混雑しています。	–
iPhone で通話すると、本機の音声出力にノイズが入る。	• iPhone を本機から 20cm 以上離して通話してください。	–
Wi-Fi 接続時に音切れがする。	• 周りの電波妨害により再生が途切れたりした場合には、有線 LAN 接続に切り替えてください。	25
	• 特にデータ容量の大きい音楽ファイルを再生するときなどに、ご使用の無線 LAN の環境によっては、再生音が途切れることがあります。その場合は有線 LAN 接続をおこなってください。	25

■ iPod が再生できない

症状	原因 / 対策	関連ページ
iPod が接続できない。	• USB 端子に iPod を接続して使用する場合、対応していない iPod があります。	24
	• iPod の接続に純正以外の USB ケーブルを使用すると、iPod を認識できない場合があります。純正の USB ケーブルを使用してください。	−
iTunes/iPhone/iPod touch/iPad 上に AirPlay のアイコンが表示されない。	• 本機とパソコン/iPhone/iPod touch/iPad が同一のネットワーク(LAN)に接続されていません。本機と同一の LAN に接続してください。	25
	• iTunes/iPhone/iPod touch/iPad が AirPlay 対応のファームウェアではありません。最新のファームウェアにアップデートしてください。	−
音が出ない。	• AirPlay の再生をしていないか、本機が選択されていません。iTunes/iPhone/iPod touch/iPad の画面で AirPlay アイコンをクリックして、本機を選択してください。	60
iPhone/iPod touch/iPad で AirPlay 再生時に音が途切れる。	• iPhone/iPod touch/iPad のバックグラウンドで起動しているアプリケーションを終了してから AirPlay 再生をしてください。	−
	• Wi-Fi 接続で外部の影響を受けている可能性があります。無線 LAN のアクセスポイントからの距離を短くするなどネットワーク環境を変更してください。	−

■ USB メモリーが再生できない

症状	原因 / 対策	関連ページ
“接続していません”と表示される。	• 接続不良などで、本機が USB メモリーを認識できない場合があります。USB メモリーを接続し直すなど、接続を確認してください。	23
	• マスストレージクラスまたは MTP 対応の USB メモリーに対応しています。	−
	• 本機は、USB ハブを経由した接続はできません。USB メモリーは USB 端子に直接接続してください。	−
	• USB メモリーのフォーマットを FAT16 または FAT32 に設定してください。	−
	• すべての USB メモリーの動作は保証できません。一部の USB メモリーは、認識できない場合があります。また、AC アダプターから電源供給できるタイプの USB 接続対応ポータブルハードディスクを使用する場合は、ハードディスクに AC アダプターを接続して使用してください。	−
USB メモリー内のファイルを表示しない。	• 本機が対応していない形式のファイルは表示しません。	46
	• 本機が、表示できるファイル構成は最大 8 階層、1 フォルダあたりのサブフォルダとファイルの合計は最大 5000 個です。USB メモリーのフォルダ構成を変更してください。	−
	• USB メモリーに複数のパーティーションがある場合、先頭のパーティーションのファイルのみを表示します。	−
USB メモリーのファイルを再生できない。	• 本機が対応していないフォーマットで作成されています。本機が対応しているフォーマットを確認してください。	46
	• 著作権が保護されたファイルを再生しようとしています。本機では、著作権保護のかかったファイルを再生することはできません。	−

■ iPod や USB メモリー内のファイル名が正しく表示されない

症状	原因 / 対策	関連ページ
ファイル名が “…” など、正しく表示されない。	• 表示できない文字が使われています。故障ではありません。本機で表示できない文字は、“.（ピリオド）”に置き換えて表示します。	−

■ インターネットラジオが再生できない

症状	原因 / 対策	関連ページ
ラジオ局のリストが表示されない。	• LAN ケーブルが正しく接続されていないか、ネットワークが切断されています。接続状態を確認してください。	25
インターネットラジオが再生できない。	• 選択したラジオ局が、本機に対応していないフォーマットで放送されています。本機で再生できるフォーマットは、MP3、WMA と AAC です。	104
	• ルータのファイアウォールがはたらいています。ファイアウォールの設定を確認してください。	–
	• IP アドレスが正しく設定されていません。	80
	• ルータの電源が入っているか確認してください。	–
	• IP アドレスを自動で取得する場合は、ルータの DHCP サーバー機能を有効にしてください。また、本機の DHCP 設定を“オン”にしてください。	80
	• IP アドレスを手動で取得する場合は、本機の IP アドレス、プロキシを設定してください。	80
	• 時間帯により無音放送になっているラジオ局があります。この場合、音声は出力しません。しばらく経ってから選択するか、別のラジオ局を選択してください。	33
お気に入りに登録したラジオ局に接続できない。	• ラジオ局がサービスを停止しています。放送中のラジオ局を登録してください。	–
“接続が途切れました”と表示され、接続できないラジオ局がある。	• ラジオ局が放送を停止しています。放送中のラジオ局を選択してください。	–

■ パソコン内やNAS内の音楽ファイルを再生できない(ミュージックサーバー)

症状	原因 / 対策	関連ページ
パソコンに保存してある音楽ファイルが再生できない。	• ファイルが対応しているフォーマット以外で記録されています。対応しているフォーマットで記録してください。	106
	• 著作権が保護されたファイルを再生しようとしています。本機では、著作権保護のかかったファイルを再生することはできません。	−
	• 本機のフロントパネルのUSB端子は、パソコンと接続することはできません。	−
	• メディアの共有設定が正しくありません。本機がパソコンのフォルダにアクセスできるようにメディアの共有設定を変更してください。	37
サーバーが見つからないか、サーバーに接続できない。	• パソコンまたはルータのファイアウォールがはたらいています。接続しているパソコンまたはルータのファイアウォールの設定を確認してください。	−
	• パソコンの電源が入っていません。電源を入れてください。	−
	• サーバーが起動していません。サーバーを起動してください。	−
	• 本機のIPアドレスが正しくありません。本機のIPアドレスを確認してください。	79
パソコン内の音楽ファイルが再生できない。	• 本機のUSB端子にパソコンを接続しても、パソコン内の音楽ファイルは再生できません。パソコンはネットワーク経由で本機に接続してください。	25
パソコン内やNAS内のファイルが表示されない。	• 本機が対応していない形式のファイルは表示しません。	106
NASに保存した曲が再生できない。	• DLNA準拠のNASをご使用の場合は、NASの設定でDLNAサーバー機能を有効にしてください。	−
	• DLNAに準拠していないNASをご使用の場合は、パソコンを経由して再生してください。Windows Media Playerのメディア共有機能設定をおこない、再生対象フォルダにNASを追加してください。	37
	• 接続を制限している場合は、オーディオ機器を接続対象にしてください。	−

■ パソコン内の音楽ファイルを再生できない(USB-DAC)

症状	原因 / 対策	関連ページ
パソコンで本機が認識されない。	• ご使用のパソコンの USB 端子に USB ケーブルを挿し直してください。挿し直しても本機が認識されないときは、別の USB 端子に挿してください。	22
	• ご使用のパソコンを再起動してください。	–
	• ご使用のパソコンの OS を確認してください。	50
	• ご使用のパソコンが Windows の場合は、専用ドライバーのインストールが必要です。	50
再生デバイスとして本機が選択されていない。	• パソコンのサウンド設定で、再生デバイスとして本機を選択してください。	50
“入力無し”と表示される。	• デジタル音声信号を正しく検出できない場合は、“入力無し”を表示します。	58
“非対応です”と表示される。	• 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“非対応です”を表示します。パソコンまたはプレーヤーソフトの設定を確認してください。	58
	• ご使用のパソコンが“Mac OS”の場合は、“Audio MIDI 設定”で、“DNP-2500NE”のフォーマットが“384000.0Hz”以下に設定されているか、確認してください。	57

■ デジタル機器の音声を再生できない(Coaxial/Optical)

症状	原因 / 対策	関連ページ
“入力無し”と表示される。	• デジタル音声信号を正しく検出できない場合は、“入力無し”を表示します。	59
“非対応です”と表示される。	• 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“非対応です”を表示します。ご使用のデジタル機器の音声出力信号フォーマットを確認してください。	59

■ Wi-Fi 接続ができない

症状	原因 / 対策	関連ページ
ネットワークに接続できない。	• ネットワーク名およびパスワード(WEP など)の設定が正しくない。ネットワークの設定と、本機の設定内容を合わせてください。	85
	• 無線 LAN のアクセスポイントからの距離を短くしたり、障害物をなくしたりして、見通しを良くしてから接続し直してください。また、電子レンジや他のネットワークのアクセスポイントから離して設置してください。	−
	• ルータの電源を確認してください。	−
	• 本機は IEEE 802.11b/g/n に対応しています。	−
	• アクセスポイントのチャンネル設定を、他のネットワークで使用しているチャンネルから離して設定してください。	−
	• 本機は WEP(TSN)との互換性はありません。	−
WPS 接続ができない。	• ルータの WPS モードが動作しているか確認してください。	−
	• ルータの操作後、2 分以内に本機の Wi-Fi CONNECT ボタンを約 3 秒間長押ししてください。	−
	• WPS2.0 規格に対応したルータ/設定が必要です。暗号化タイプを“なし”、“WPA-PSK(AES)”または“WPA2-PSK(AES)”に設定してください。	80
	• ルータの暗号化方式が WEP/WPA-TKIP/WPA2-TKIP のいずれかの場合は、Wi-Fi CONNECT/WPS ボタンを使用して接続することはできません。この場合は“自動検索”または“手動設定”の方法で接続してください。	72
iPhone/iPod touch/iPad を使用したネットワーク接続ができない。	• iPhone/iPod touch/iPad を最新のファームウェアにアップデートしてください。	−
	• USB ケーブルを使用して設定する場合は、iOS 機器のファームウェアのバージョンが iOS 5 以降に対応している必要があります。また、無線接続で設定する場合は、iOS 7 以降に対応している必要があります。	−

■ リセットしても正常に動作しない

症状	原因 / 対策	関連ページ
リセットしても正常に動作しない。	• 全ての設定をお買い上げ時の設定に戻すのに 90 秒程度かかります。電源を切る場合は、“Initialized” が表示されてから約 90 秒後に電源プラグを抜いて下さい。	78

保証と修理について

■ 保証書について

- この製品には保証書が添付されております。
  保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

■ 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

- 保証書が添付されない場合は有料修理になりますので、ご注意ください。

■ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。

■ 修理料金のしくみ

- 技術料‥‥故障した製品を正常に修復するための料金です。
  技術者の人件費・技術教育費・測定機器などの設備費・一般管理費などが含まれます。
- 部品代‥‥修理に使用した部品代金です。
  その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
- 出張料‥‥製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。
  別途駐車料金をいただく場合があります。

■ 補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

■ 修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

修理を依頼されるとき

- 修理お問い合わせ窓口へご相談ください。
- 出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただくことになりますので、あらかじめご了承ください。
- 修理を依頼されるときのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

■ 依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名・・・・・取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号・・・保証書と製品背面に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

■ お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

付録

USB メモリーを再生する

- MP3 ID3 タグ(バージョン 2.0)に対応しています。
- WMA META タグに対応しています。
- アルバムアートの画素サイズが 600kB を超えている場合は、正しく再生できないことがあります。

■ 再生できるファイルの仕様

	サンプリング周波数	ビットレート	ビット数	拡張子
WMA*1	32/44.1/48kHz	48～192 kbps	–	.wma
MP3	32/44.1/48kHz	32～320 kbps	–	.mp3
WAV	32/44.1/48/ 88.2/96/176.4/ 192kHz	–	16/24 ビット	.wav
MPEG-4 AAC*1	32/44.1/48kHz	16～320 kbps	–	.aac/ .m4a/ .mp4
FLAC	32/44.1/48/ 88.2/96/176.4/ 192kHz	–	16/24 ビット	.flac
ALAC*2	32/44.1/48/ 88.2/96kHz	–	16/24 ビット	.m4a
AIFF	32/44.1/48/ 88.2/96/176.4/ 192kHz	–	16/24 ビット	.aif/ .aiff
DSD (2 チャンネル)	2.8/5.6MHz	–	–	.dsf/ .dff

*1　著作権保護のないファイルのみ再生できます。
インターネット上の有料音楽サイトからダウンロードしたコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリッピングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。

*2　Copyright [2012] [D&M Holdings. Inc.] Apache License Version 2.0(「本ライセンス」)に基づいてライセンスされます。このファイルを使用するためには、本ライセンスに従わなければなりません。本ライセンスのコピーは下記の URL から入手できます。
http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0

- サンプリング周波数が 32kHz の信号と DSD 信号は、本機のデジタルオーディオアウト端子から出力しません。

■ 再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

本機で表示できるフォルダやファイルの制限数は次のとおりです。

メディア / 項目	USB メモリー
メモリーの容量	FAT16 : 2GB、FAT32 : 2TB
フォルダの階層数 *1	8 階層
フォルダ数	500
ファイル数 *2	5000

*1　制限数にはルートフォルダを含みます。

*2　USB メモリーの容量やファイルサイズにより、許容ファイル数が変わる場合があります。

インターネットラジオ局の再生について

■ 再生できる放送局の仕様

	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
WMA	32/44.1/48kHz	48～192 kbps	.wma
MP3	32/44.1/48kHz	32～320 kbps	.mp3
MPEG-4 AAC	32/44.1/48kHz	16～320kbps	.aac/ .m4a/ .mp4

D/A コンバーターについて

■ 再生できる音声フォーマットの仕様

❑ USB-DAC

	サンプリング周波数	ビット長
DSD(2 チャンネル)	2.8/5.6/11.2MHz	1 ビット
リニア PCM(2 チャンネル)	44.1/48/88.2/96/176.4/192/352.8/384kHz	16/24/32 ビット

ご注意

- DSD 信号、またはサンプリング周波数が 32/352.8/384kHz のリニア PCM 信号の再生中は、デジタル音声出力を停止します。

❑ Coaxial/Optical

	サンプリング周波数	ビット長
リニア PCM(2 チャンネル)	32/44.1/48/88.2/96/176.4/192kHz	16/24 ビット

パソコンやNASに保存されているファイルを再生する

- MP3 ID3 タグ(バージョン 2.0)に対応しています。
- WMA META タグに対応しています。
- アルバムアートの画素サイズが 600kB を超えている場合は、正しく再生できないことがあります。
- ネットワーク経由での音楽ファイルの再生には、そのフォーマットの配信に対応したサーバーまたはサーバーソフトウェアが必要です。

- 特にデータ容量の大きい音楽ファイルを再生するときなどに、ご使用の無線 LAN の環境によっては、再生音が途切れることがあります。その場合は有線 LAN 接続をおこなってください。

■ 再生できるファイルの仕様

	サンプリング周波数	ビットレート	ビット数	拡張子
WMA*1	32/44.1/48kHz	48～192 kbps	–	.wma
MP3	32/44.1/48kHz	32～320 kbps	–	.mp3
WAV	32/44.1/48/ 88.2/96/176.4/ 192kHz	–	16/24 ビット	.wav
MPEG-4 AAC*1	32/44.1/48kHz	16～320 kbps	–	.aac/ .m4a/
FLAC	32/44.1/48/ 88.2/96/176.4/ 192kHz	–	16/24 ビット	.flac
ALAC*2	32/44.1/48/ 88.2/96kHz	–	16/24 ビット	.m4a
AIFF	32/44.1/48/ 88.2/96/176.4/ 192kHz	–	16/24 ビット	.aif/ .aiff
DSD (2 チャンネル)	2.8/5.6MHz	–	–	.dsf/ .dff

*1　著作権保護のないファイルのみ再生できます。
インターネット上の有料音楽サイトからダウンロードしたコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリッピングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。

*2　Copyright [2012] [D&M Holdings. Inc.] Apache License Version 2.0(「本ライセンス」)に基づいてライセンスされます。このファイルを使用するためには、本ライセンスに従わなければなりません。本ライセンスのコピーは下記の URL から入手できます。
http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0

- サンプリング周波数が 32kHz の信号と DSD 信号は、本機のデジタルオーディオアウト端子から出力しません。

ラストファンクションメモリー

スタンバイにする直前の各種設定を記憶します。
再び電源を入れると、スタンバイにする直前の設定になります。

用語の解説

■ 音声

ALAC（Apple Lossless Audio Codec）

アップル社が開発した音声データ可逆圧縮方式のコーデックです。iTunes や iPhone、iPod で再生できます。約 60～70%に圧縮されたデータを完全に元どおりのデータに再現します。

AIFF（Audio Interchange File Format）

非圧縮ロスレス方式のデジタル音声ファイルフォーマットです。AIFF ファイルは、読み込んだ曲から高音質オーディオ CD を作成する場合に使用します。AIFF ファイルは、1 分あたり約 10MB のディスク領域を使用します。

DSD（Direct-Stream Digital）

音声データ記録方式の 1 つです。スーパーオーディオ CD にオーディオ信号を格納する信号形態で、Δ-Σ 変調されたデジタルオーディオです。

FLAC

可逆圧縮方式のフリーの音声ファイルフォーマットです。可逆圧縮のため、原音からの音質の劣化がありません。
FLAC のライセンスについては、次のとおりです。

Copyright (C) 2000, 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006,2007, 2008, 2009 Josh Coalson

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY

DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

MP3 (MPEG Audio Layer-3)

音声データ圧縮方式の 1 つで、国際的な標準規格です。映像圧縮方式の「MPEG-1」に採用されています。音楽 CD 並の音質を保ったままデータ量を約 1/11 に圧縮できます。

MPEG(Moving Picture Experts Group)、MPEG-2、MPEG-4

デジタル圧縮形式として映像や音声を符号化するために使用される規格群の名前です。ビデオの規格には、「MPEG-1 Video」、「MPEG-2Video」、「MPEG-4 Visual」、「MPEG-4 AVC」などがあります。音声の規格には、「MPEG-1 Audio」、「MPEG-2Audio」、「MPEG-4 AAC」などがあります。

WMA (Windows Media Audio)

米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。
WMA データは、Windows Media® Player を使用してエンコード(符号化)することができます。WMA ファイルは、米国 Microsoft Corporation より認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正しく動作しないことがあります。

サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波(アナログ信号)を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化(デジタル信号化)することです。1 秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

ビットレート(Bit rate)

記録された映像/音声データを 1 秒あたりに何ビットのデータに処理したかをあらわします。この数値が大きいほど音質は向上しますが、ファイルサイズは大きくなります。

■ ネットワーク

AirPlay

iTunes または iPhone、iPod touch、iPad に収録されているコンテンツをネットワーク経由で対応する機器に転送(再生)する機能です。

DLNA

DLNA および DLNA CERTIFIED は、Digital Living Network Alliance(デジタル・リビング・ネットワーク・アライアンス) の商標/ サービスマークです。コンテンツには DLNA CERTIFIED® 製品と適合しないものがある可能性があります。

IEEE 802.11b

IEEE(米国電気電子学会)で LAN 技術の標準を策定している 802 委員会が定めた、無線 LAN の規格の 1 つです。無線免許無しで自由に使用可能な 2.4GHz 帯の電波(ISM バンド)を使用し、最大 11Mbps の速度で通信できます。
表示の数値は、無線 LAN 規格の理論上の最大値であり、実際のデータの転送速度を示すものではありません。

IEEE 802.11g

IEEE(米国電気電子学会)で LAN 技術の標準を策定している 802 委員会が定めた、無線 LAN の規格の 1 つです。IEEE802.11b と互換性を持ち、同じ 2.4GHz 帯を使用しながら、最大で 54Mbps の通信がおこなえます。
表示の数値は、無線 LAN 規格の理論上の最大値であり、実際のデータの転送速度を示すものではありません。

IEEE 802.11n

IEEE(米国電気電子学会)で LAN 技術の標準を策定している 802 委員会が定めた、無線 LAN の規格の 1 つです。IEEE 802.11a/b/g と互換性を持ち、2.4GHz/5GHz 帯を使用して最大で 600Mbps の通信がおこなえます。
表示の数値は、無線 LAN 規格の理論上の最大値であり、実際のデータの転送速度を示すものではありません。

vTuner

インターネットラジオの無料オンラインコンテンツサービスです。
本サービスに関するお問い合わせは、下記 vTuner のサイトまでお願い致します。
vTuner ホームページ:
http://www.radiodenon.com
本製品は、Nothing Else Matters Software and BridgeCo の知的財産権により保護されています。当該技術の本製品以外での使用または配布は、Nothing Else MattersSoftwareandBridgeCo の許諾がない限り禁止されています。

WEP Key(ネットワークキー)

データ通信をおこなう際にデータを暗号化するために使用する鍵情報です。本機はデータの暗号化/復号化ともに同一の WEP キー(ネットワークキー)を用いるため、通信する相手と同一の WEP キーを設定する必要があります。

Wi-Fi®

無線 LAN の互換性接続を保証する団体「Wi-FiAlliance」の相互接続性テストを合格していることを示します。

WPA (Wi-Fi Protected Access)

Wi-Fi アライアンスが策定したセキュリティ規格です。従来の SSID(ネットワーク名)や WEP キー(ネットワークキー)に加えて、ユーザ認証機能や暗号化プロトコルを採用して、セキュリティを強化しています。

WPA2 (Wi-Fi Protected Access 2)

Wi-Fi アライアンスが策定した WPA の新バージョンです。WPA と比べ、より強力な AES 暗号に対応しています。

WPA-PSK/WPA2-PSK(Pre-shared Key)

あらかじめ設定した文字列が無線 LAN アクセスポイントとクライアントで一致した場合、相互認証をおこなう簡易認証の方式です。

WPS (Wi-Fi Protected Setup)

無線 LAN 機器の接続とセキュリティ設定を簡単に実行するために Wi-Fi アライアンスが策定した規格です。

ネットワーク名(SSID:Security Set Identifier)

無線 LAN のネットワークを構成するとき、混信やデータの盗難などを防ぐために、グループ分けをします。このグループ分けを「SSID(ネットワーク名)」でおこないます。さらにセキュリティ強化のために、WEP キーを設定し、「SSID」と WEP キーが一致しないと通信できないようになっています。簡易ネットワークを構成する場合に適しています。

登録商標について

"Made for iPod" and "Made for iPhone" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.

Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod, or iPhone, may affect wireless performance. AirPlay, iPad, iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

- iPhone、iPod、iPod classic、iPod nano および iPod touch は、著作権のないコンテンツまた は法的に複製、再生を許諾されたコンテンツを個人が私的に 複製、再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

Wi-Fi CERTIFIED ロゴは、Wi-Fi Alliance の登録商標です。
無線 LAN の互換性接続を保証する団体「Wi-Fi Alliance」の相互接続性テストを合格していることを示します。

主な仕様

■ オーディオ部

	[DSD]	[PCM]
• アナログ出力		
チャンネル:	2 チャンネル	2 チャンネル
再生周波数範囲:	2Hz～100kHz	2Hz～96kHz
再生周波数特性:	2Hz～50kHz (-3dB)	2Hz～96kHz (サンプリング周波数:192kHz) 2Hz～20kHz (サンプリング周波数:44.1kHz)
SN 比:	120dB(可聴帯域)	118dB
ダイナミックレンジ:	112dB(可聴帯域)	118dB(24 ビット)
高調波歪率:	0.0006%(1kHz、可聴帯域)	0.0008%(24 ビット)
出力レベル:	2.0V(10kΩ)	2.0V(10kΩ)
• デジタル出力		
COAXIAL:	—	0.5Vp-p/75Ω
OPTICAL:	—	-15～-21dBm
発光波長:	—	660nm

• デジタル入力信号フォーマット	
フォーマット:	デジタルオーディオインターフェース(リニア PCM)
COAXIAL 入力:	0.5Vp-p/75Ω
OPTICAL	
発光入力:	-27dBm 以上
発光波長:	660nm

• ヘッドホン出力

定格出力:	2 チャンネル 1.5W+1.5W(32Ω、1kHz、T.H.D 0.7%) 80mW+80mW(600Ω、1kHz、T.H.D 0.7%)
出力端子:	ヘッドホン:負荷 8～600Ω
全高調波歪率:	0.003%(1.5W、32Ω、1kHz)
S/N 比:	116dB(1.5W、32Ω、1kHz、IHF-A)
トーンコントロール:	低音:±10dB(100Hz) 高音:±10dB(12kHz)
周波数特性:	5Hz～80kHz(32Ω、-3dB)

■ 無線 LAN 部

ネットワーク種類(無線 LAN 規格):	IEEE 802.11b 準拠 IEEE 802.11g 準拠 IEEE 802.11n 準拠 (Wi-Fi®準拠)*
セキュリティ:	WEP 64bit, WEP 128bit WPA/WPA2-PSK(AES) WPA/WPA2-PSK(TKIP)
無線周波数:	2.4GHz
チャンネル数:	1 ～ 13 チャンネル

* (Wi-Fi®準拠)とは、無線 LAN の相互接続性を保証する団体「WiFi Alliance」の相互接続性テストに合格していることを示します。

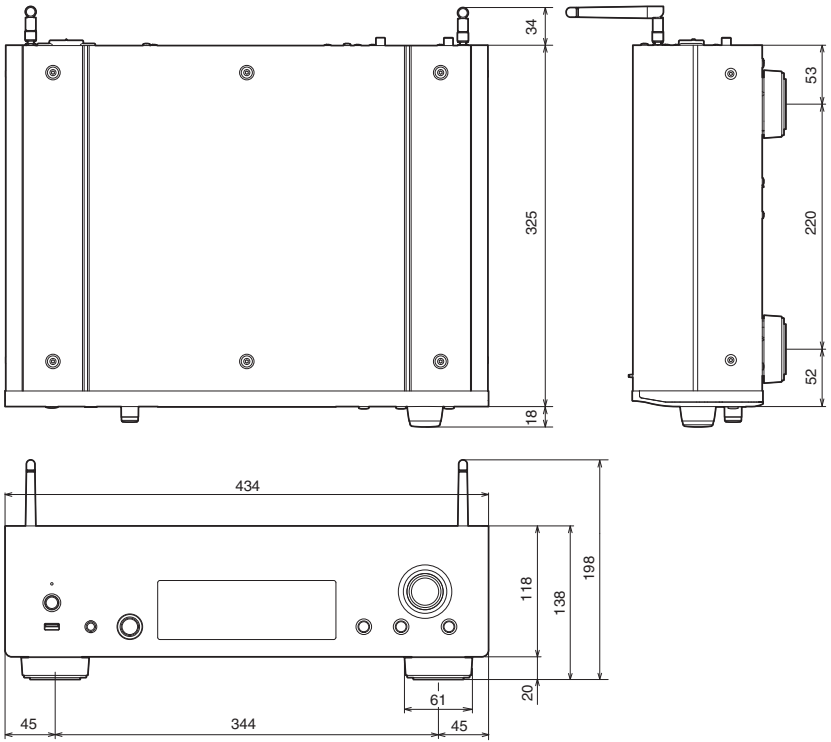
■ 総合

電源電圧/周波数:	AC100V 50/60Hz
消費電力:	35W
待機時消費電力:	0.3W
“ネットワーク制御”－“オン”時の消費電力:	3.0W

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

■ 寸法

単位:mm



■ 質量 : 11.7kg

索引

☞ A
AirPlay 60

☞ D
D/A コンバーター機能 49, 105
DLNA 108

☞ I
IPod 23, 42, 45
IR コントロール 28

☞ N
NAS 36, 106

☞ R
Remote play 機能 62

☞ U
USB-DAC 22, 49, 105
USB メモリー 23, 46

☞ あ
アップデート 76

☞ い
インターネットラジオ 32

☞ う
ウェブコントロール機能 65

☞ お
お買い上げ時の設定に戻す 78
お気に入りリスト 40

☞ し
新機能の追加 77

☞ す
スリープタイマー 70

☞ て
ディスプレイの明るさ 70

☞ ね
ネットワーク情報 79
ネットワーク制御 79

☞ は
パソコン 36, 106

☞ ふ
フレンドリ名 80
フロントパネル 10

☞ め
メニュー一覧 71

☞ も
文字入力 75

☞ り
リアパネル 12
リモコン 14

当社製品のご相談と修理についてのお問い合わせは、お買い上げ店または下記窓口にご連絡ください。

お客様相談センター

☎ 0570（666）112
FAX : 044（330）1367

■ 受付時間　9 : 30 ～ 17 : 30
（当社休日および祝日を除く、月～金曜日）

■ 上記番号がご利用いただけない場合　☎ 050（3388）6801
〒 210-8569　神奈川県川崎市川崎区日進町 2 番地 1　D&M ビル

■ お問い合わせをいただく前に、ホームページの FAQをご確認ください。
http://denon.jp/jp/html/faq.html

■ メールでお問い合わせをいただくこともできます。
http://denon.jp/jp/html/contact.html

＊ 電話番号・ファックス番号・URL は変更になる場合があります。

修理相談窓口

☎ 0570（666）811

■ 受付時間　9 : 30 ～ 12 : 00 、13 : 00 ～ 17 : 30
（当社休日および祝日を除く、月～金曜日）

■ 上記番号がご利用いただけない場合　☎ 0466（86）9520

■ 故障・修理・その他のサービス関連情報については、次の当社ホームページでもご確認いただけます。
http://denon.jp/jp/html/service.html

■ 代表修理窓口
首都圏サービスセンター
〒 252-0816　神奈川県藤沢市遠藤 2010-16
FAX : 0466（86）9522

＊ ディーアンドエムホールディングス本社では製品の修理を受け付けておりません。

DENON®

株式会社 ディーアンドエムホールディングス
〒 210-8569
神奈川県川崎市川崎区日進町 2 番地 1　D&M ビル

Printed in Japan　5411 11330 20AD
Copyright ©2015 D&M Holdings Inc. All Rights Reserved.